

2025シラバス一覧（教養教育科目）

教養教育科目			
シラバスNo.	科目名	シラバスNo.	科目名
250000010	英語Ⅰ	250000080	入門ハンゲル
250000011	英語Ⅰ	250000090	入門ドイツ語
250000012	英語Ⅰ	250000100	入門手話
250000013	英語Ⅰ	250000110	基礎演習
250000014	英語Ⅰ	250000120	専門基礎演習（栄養）
250000015	英語Ⅰ	250000130	専門基礎演習（看護）
250000016	英語Ⅰ	250000140	専門基礎演習（社会福祉）
250000017	英語Ⅰ	250000150	専門基礎演習（社会保育学科）
250000020	英語Ⅱ	250000160	情報処理Ⅰ
250000021	英語Ⅱ	250000170	情報処理Ⅱ
250000022	英語Ⅱ	250000180	統計学
250000023	英語Ⅱ	250000190	スポーツ理論
250000024	英語Ⅱ	250000200	スポーツ実技Ⅰ
250000025	英語Ⅱ	250000210	スポーツ実技Ⅱ
250000026	英語Ⅱ	250000220	教育学
250000027	英語Ⅱ	250000230	哲学
250000030	英語Ⅲ	250000240	心理学
250000040	英語Ⅳ	250000250	生命倫理
250000050	コミュニケーション英語Ⅰ	250000260	文化人類学
250000051	コミュニケーション英語Ⅰ	250000270	芸術文化論
250000052	コミュニケーション英語Ⅰ	250000280	日本国憲法
250000053	コミュニケーション英語Ⅰ	250000290	経済学
250000054	コミュニケーション英語Ⅰ	250000300	現代経済学
250000055	コミュニケーション英語Ⅰ	250000310	社会学
250000056	コミュニケーション英語Ⅰ	250000320	ジェンダー論
250000057	コミュニケーション英語Ⅰ	250000330	化学
250000060	コミュニケーション英語Ⅱ	250000340	生物学
250000061	コミュニケーション英語Ⅱ	250000350	生命科学
250000062	コミュニケーション英語Ⅱ	250000360	生態学
250000063	コミュニケーション英語Ⅱ	250000370	地球環境科学
250000064	コミュニケーション英語Ⅱ	250000380	地域社会論
250000065	コミュニケーション英語Ⅱ	250000390	北海道の地域資源
250000066	コミュニケーション英語Ⅱ	250000400	北海道の野外レクリエーション
250000067	コミュニケーション英語Ⅱ	250000410	北海道の農と食
250000070	コミュニケーション英語Ⅲ		

科 目 名	英語 I				
科 目 名 (英 語)	English I	シラバスNo.	250000010		
担 当 教 員 名	後藤 礼圭 (Hiroka Goto)				
学 年 配 当	1 年	単 位 数	1 単 位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<p>① 日本に関する英語テキストを読み、多角的な視点からみた日本文化、経済、産業についての知識を深めながら、グローバル社会で必要とされる実用的かつ総合的な英語能力を養成する。</p> <p>② 語彙力を強化するために図書館にある英語教材の本を 30000 語以上読む。</p> <p>③ 英語によるコミュニケーション能力を伸ばすだけでなく異文化理解を深める。</p>				
受 講 の 留 意 点	授業には必ず辞書を持参すること。(高校時代使用していたもので構わない。)				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>基礎的な文法知識を使って短文から課題や授業内で 50~100words 程度のパラグラフ・ライティング練習を繰り返す。また、英語の基礎的な力を高めるために E ラーニングによる英語読解カトレーニングを行う。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 グループワークを行い、英語での短いプレゼンテーションを最終的にグループごとに行ってもらおう。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：self-introduction・パラグラフリーディングについて 2 Hello Kitty Is Not a Cat 3 Mount Fuji Has Long Been an Icon 4 The Shinkansen Cleaning Theater 5 Corporate Drama Series 'Shitamachi Rocket' Hits Close to Home 6 文法の確認 ① 7 Film Activities ① 8 Film Activities ② 9 文法の確認 ② 10 ニュース記事を読もう ① 				

	11 ニュース記事を読もう ②		
	12 ニュースを聞こう ①		
	13 ニュースを聞こう ②		
	14 Shigeru Mizuki, Influential Japanese Cartoonist, Dies at 91		
	15 Mingei Endures		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	45分	授業で使うテキストの内容に事前に目を通し、単語の推測後に辞書での単語の確認。課題(調べ物、確認、設問を解くことを含む)
	復習	45分	授業の内容を復習し、語彙や表現を身につける。
成績評価方法	Extensive Reading(20%) 小課題・小テスト(40%)グループワーク・プレゼンテーション (40%)		
教科書 (購入必須)	なし。適宜プリントを配布する。		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	英語 I				
科 目 名 (英 語)	English I	シラバスNo.	250000011		
担 当 教 員 名	Martin Meadows				
学 年 配 当	1 年	単 位 数	1 単 位	開 講 形 態	演 習
開 講 時 期	前 期	必 修 選 択	必 修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にしながら実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Read and write plain English sentences based on basic knowledge of grammar. 2. Read at least 30,000 words of graded English materials in the library to strengthen vocabulary and overall language competence. 3. Learn the fun and importance of communicating in English in a globalized society by experiencing different cultures through the study of English. 				
受 講 の 留 意 点	<p>Much of the classroom work will be done in small groups. All students are expected to cooperate and contribute to these activities through active classroom participation. Students are also required to maintain a "detective's notebook" in which they record important story and character details and key vocabulary items. Additional activities and tasks will be conducted online through the use of an e-learning system accessible from both school and home via the Internet.</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>In this course, students read a crime story that requires them to look for clues and analyse motives. Reading circles and group work activities are used to promote active learning and foster speaking, summarising and basic discussion skills. Additional extensive reading tasks conducted outside the classroom and evaluated online further facilitate vocabulary development and reading fluency</p>				

- | | |
|---|--|
| 1 | <p>Class placement test</p> |
| 2 | <p>Orientation and introduction</p> <ul style="list-style-type: none"> - Introducing ourselves to each other. <li style="padding-left: 20px;">How to use the university Moodle (e-learning system) - Orientation for extensive reading |
| 3 | <p>Introduction to the textbook & reading circles</p> <p>WHODUNIT - The Inverted Eagle</p> <ul style="list-style-type: none"> - Planning your reading - Crime Talk (recurring basic vocabulary) - Chapter 1: The Scene of the Crime - Reading Circles - roles and responsibilities - Groupwork (Reading Circles) |
| 4 | <p>Chapter 1: The Scene of the Crime</p> <ul style="list-style-type: none"> - Reading circles (group work) - chapter review <p>CHAPTER QUIZ #1</p> |
| 5 | <p>Chapter 2: Three Interviews</p> <ul style="list-style-type: none"> - dictated comprehension questions - reading circle groupwork/discussion |
| 6 | <p>Chapter 2: Three Interviews (cont'd)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Reading circles (group work) - chapter review <p>CHAPTER QUIZ #2</p> |
| 7 | <p>Chapter 3: The Hospital</p> <ul style="list-style-type: none"> - dictated comprehension questions - reading circle groupwork/discussion |
| 8 | <p>Chapter 3: The Hospital (cont'd)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Reading circles (group work) - chapter review <p>CHAPTER QUIZ #3</p> |
| 9 | <p>Chapter 4: The Suspect</p> |

			<ul style="list-style-type: none"> - dictated comprehension questions - reading circle groupwork/discussion
	10	Chapter 4: The Suspect (cont'd)	<ul style="list-style-type: none"> - Reading circles (group work) - chapter review <p>CHAPTER QUIZ #4</p>
	11	Chapter 5: Family Secrets	<ul style="list-style-type: none"> - dictated comprehension questions - reading circle groupwork/discussion
	12	Chapter 5: Family Secrets (cont'd)	<ul style="list-style-type: none"> - Reading circles (group work) - chapter review <p>CHAPTER QUIZ #5</p>
	13	Chapter 6: The Arrest	<ul style="list-style-type: none"> - dictated comprehension questions - reading circle groupwork/discussion
	14	Chapter 6: The Arrest (cont'd)	<ul style="list-style-type: none"> - Reading circles (group work) - chapter review <p>CHAPTER QUIZ #6</p>
15	Extensive Reading Wrap-up	Class time is reserved for completing assignments, consulting with the teacher, etc	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
	Students are expected to have read each chapter in advance of the class and to complete Moodle-based activities both before and after class.		
成績評価方法	Class participation/online practice activities (10pts), Six [6] chapter comprehension tests (60pts), and online reading activities (30pts).		
教科書 (購入必須)	Whodunit (Adam Gray & Marcos Benevides) ABAX Ltd (ISBN: 9781896942339)		
参考書 (購入任意)	None. However, purchase of a notebook computer is recommended.		

科 目 名	英語 I			
科 目 名 (英 語)	English I	シラバスNo.	250000012	
担 当 教 員 名	ジョーダン・ハランド			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	知的好奇心を刺激する英語のテキストを教材とし、語彙力を高めると同時に、文脈から見知らぬ語も意味を推測し、読み進められるようになることを目標とする。			
受 講 の 留 意 点				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>中学高校で学んだ基礎的英語力を復習しつつ、英語の総合力の底上げをする。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 ①教師の説明を聞いて、教材を自分の言葉で和訳してみる。②学んだことを応用し、簡単なプレゼン(show and Tell)を行う</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラス分けテスト 2 クラスガイダンス 3 テーマ AIで動物と会話 4 テーマ AIで動物と会話 5 進化するスポーツシューズ 6 進化するスポーツシューズ 7 モナリザの秘密 8 モナリザの秘密 9 動物の算数力 10 動物の算数力 11 AI作品が絵画賞を受賞 12 AI作品が絵画賞を受賞 13 ワクチン接種の賛否 			

	1 4 ワクチン接種の賛否	
	1 5 Show & Tell	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分 教材にざっと目を通し、概要をつかむ
	復習	30分 履修した単語を覚える 小テストに備える
成績評価方法	小テスト（60点）moodle reading（30点）Show & Tell（5点）授業への積極性（5点）	
教科書 （購入必須）	なし	
参考書 （購入任意）		

科 目 名	英語 I				
科 目 名 (英 語)	English I	シラバスNo.	250000013		
担 当 教 員 名	マシュー・ネチャコフ				
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	The objective of this course is to improve students' reading, writing and general English skills. The course is designed to encourage students to enjoy reading and writing in English, as well as give them the motivation to aim to improve their English skills independently.				
受 講 の 留 意 点	The majority of this class will be conducted in English.				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>There will be a variety of reading and writing activities on a number of common themes in everyday life as well as group activities focused on comprehension and creativity.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Active learning will take place through group activities conversations and discussions as well as presentations in class.</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Placement Test 2 Orientation/Introduction - course overview and Moodle explanation 3 Friends and Hobbies - writing about friends and explaining hobbies/interests 4 Past Experience - introducing experiences that have taken place in the past 5 Wants and Wishes - describing the future 6 Future Dreams and Goals - describing goals for the future 7 Assignment #1 - writing a self-introduction using the practiced topics 8 Invitations and Emails - how to write invitations and emails in English 9 Reasoning - writing about specific reasons or causes for an event 10 Reporting 1 - following clues to find an answer 11 Reporting 2 - news articles and how to report 				

	12 News Articles - writing a news article
	13 Brochures 1 - reading brochures and time schedules
	14 Brochures 2 - planning a trip with English information
	15 Assignment #2 due date and class wrap-up
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 30分 Review previous materials before the class
	復習 30分 Assignments and review after each class
	Students should complete all assignments and come prepared to study English. Any homework will be assigned at the end of each class.
成績評価方法	Extensive Reading (30) Weekly Free writing/ Journal (30) Assignments (40)
教科書 (購入必須)	Binder for writing assignments
参考書 (購入任意)	Japanese-English Dictionary (Print/Electronic/Smartphone Application) is highly recommended.

科 目 名	英語 I				
科 目 名 (英 語)	English I	シラバスNo.	250000014		
担 当 教 員 名	Miyazaki Chihaya				
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	This course focuses on the reading from mysteries. The objective of the course is to enjoy and discover a deeper interest in English.				
受 講 の 留 意 点	Students are expected to prepare for class by reading the given materials every week.				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>The classes will be based on the reading materials and students will work in groups to complete the weekly assignments and to solve the mysteries. Participation in the group work will be required from all students.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Class placement test 2 Introduction 3 Encyclopedia Brown The Case of Natty Nat 4 Encyclopedia Brown The Case of the Scattered Cards 5 Encyclopedia Brown The Case of Merko's Son 6 Encyclopedia Brown The Case of the Bank Robber 7 Encyclopedia Brown The Case of the Happy Nephew 8 Encyclopedia Brown The Case of the Diamond Necklace 9 Encyclopedia Brown The Case of the Knife in the Watermelon 10 Encyclopedia Brown The Case of the Missing Roller Skates 11 Encyclopedia Brown The Case of the Champion Egg Spinner 				

	12	Encyclopedia Brown The Case of the Balloon Man	
	13	Encyclopedia Brown The Case of the Hungry Hitchhiker	
	14	Encyclopedia Brown The Case of the Excalibur	
	15	Review	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
成績評価方法	Quizzes 60%		Online reading 30%
			Classroom Assignments and Participation in Group Work 10%
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out every week in class		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	英語 I				
科 目 名 (英 語)	English- I	シラバスNo.	250000015		
担 当 教 員 名	野村 太				
学 年 配 当	1 年	単 位 数	1 単 位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	私は日系企業で海外駐在や海外出張の経験があり、価格交渉やクレーム処理、新規開拓、さらには関係官庁との調整なども経験しました。この経験を学生の皆さんと共有することで、国際的な環境に適應できる人材を育成したいと考えています。				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	「私の授業を受講後、異文化の企業や顧客との応対（セールス、問い合わせ、クレーム処理、契約締結、条件交渉）において、より自信を持って臨むことができるようになると考えています。」				
受 講 の 留 意 点	授業中の居眠り、無断のスマホ操作は授業放棄とみなし、欠席に準ずる処置をとります。				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>最新的话题をネット上の英語サイトから選び、プリントにして渡します。それを読みながら読解力を鍛え、さらには意見を英語で表現する練習を行います。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 みなさんが将来、公私の企業で働く際に起こりうるトラブルや課題についてその重大性を分析し、解決に向けてどうすべきかをケーススタディで検討します。3、4人のグループに分け、各班で議論した後、リーダーが前に出て発表する形をとります。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 リーディング、リスニング（ニュース記事） 3 リーディング、リスニング（会話文） 4 リーディング、リスニング（広告） 5 リーディング、リスニング（学術論文） 6 リーディング、リスニング（TEDプレゼンテーション） 7 リーディング、リスニング（環境問題） 8 リーディング、リスニング（経済問題） 9 リーディング、リスニング（異文化理解） 10 リーディング、リスニング（旅行） 11 リーディング、リスニング（TOEIC対策） 12 リーディング、リスニング（英検要約） 				

	13	リーディング、リスニング (ペアワーク)	
	14	総合演習	
	15	総合演習	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	配布プリントに目を通す
	復習	30分	授業内容の確認・復習等
成績評価方法	授業態度20点、Moodle読書規定語数達成で30点。期末テスト50点合計100点で評価します。		
教科書 (購入必須)	使いません。		
参考書 (購入任意)	使いません。		

科 目 名	英語 I			
科 目 名 (英 語)	English I	シラバスNo.	250000016	
担 当 教 員 名	Herman Leung			
学 年 配 当	1 年	単 位 数	1 単 位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	The objective of this course is to improve students' reading, writing and general English Skills. The course is designed to encourage students to enjoy reading and motivate their writing skills.			
受 講 の 留 意 点	Students should complete all assignments and come prepared to study English.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>The class will focus on reading and completing weekly creative writing assignments along with additional classwork.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Group work and presentations.</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Placement test 2. Introduction to Moodle Reader Books 3. Course Introduction and self-introduction 4. Creative writing and Breaking News 5. Abstract Dialogue 6. Video with worksheet 7. Basic structures in writing a skit 8. Developing characters in a skit 9. Writing a skit 10. Video with worksheet 11. Making a recipe 12. Recipe presentation 13. Final exam explanation and preparation 14. Practice Exam 15. Final Exam 			

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	Students should prepare 15 minutes before class.
	復習	30分	Students should review their classwork and extensive reading.
成績評価方法	Classwork Assignments (30) Weekly Creative Writing (20) Moodle Readers (30) Final Exam (20)		
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out during class.		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	英語 I				
科 目 名 (英 語)	English I	シラバスNo.	250000017		
担 当 教 員 名	森永 治之介				
学 年 配 当	1 年	単 位 数	1 単 位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<p>学生は、基本的な重要文法事項を理解でき、英語圏で日常目にする英語表現（新聞の見出し・ネット注文の表記・案内表示など）を理解できる。英和辞典を使用して、未知の語句の意味を適切に調べ、自ら語彙力を高めることができる。英文の構造を理解しながら、適切に文章の意味を読み取ることができる。学習した語彙・表現を用いて、自らの考えを英語で書くことができる。</p>				
受 講 の 留 意 点	<p>プリントは授業時に配布し、ムードルにも投稿する。欠席時はダウンロードし学習しておくこと。授業に関する案内をムードルに掲示することもあるため、定期的に確認すること。学生の習得度・興味や授業の進捗状況に応じて、取り扱う事項や進度を変更する場合もある。</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>学生は、配布プリントを用いて、以下の4つの学習に取り組む：新出語彙の意味検索、英文の和訳・読解演習、英作文作成・スピーチ発表、語彙定着確認の小テスト。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 グループ・ワーク、スピーチ発表</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラス分けテスト 2 Extensive Reading の行い方 3 オリエンテーション (Self-Introduction and Asking Questions) 4 英和辞典の使い方 (1) Animals 5 英和辞典の使い方 (2) Multiple-Meaning Words 6 文の構成 (節と句・主語と述語動詞) 7 動詞のかたち (現在・過去・進行形・完了形・受動態・助動詞) 8 形容詞・副詞のはたらき 9 News and Headlines 10 Signs in the City 11 Reading Fiction and Novels 12 Popular Songs and Poetry 				

	13	Online Shopping and Booking	
	14	Foreign City of My Dreams (1) Finding Information	
	15	Foreign City of My Dreams (2) Speech	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	配布プリントに目を通す（問題・課題を行う必要はない）
	復習	30分	授業内容の確認・小テストのための語彙暗記学習・Extensive Reading
成績評価方法	Extensive Reading（30%）・小テスト（20%）・課題/レポート/スピーチ発表（50%）		
教科書 （購入必須）	プリントを配布する		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	英語Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	EnglishⅡ	シラバスNo.	250000020		
担 当 教 員 名	後藤 礼圭 (Hiroka Goto)				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<p>① 英国に関するテキストや最近のニュース記事の読解を通し、多角的な視点からみた文化、経済、産業についての知識を深めながら、グローバル社会で必要とされる実用的かつ総合的な英語能力を養成する。</p> <p>② 語彙力を強化するために図書館にある英語教材の本を 30000 語以上読む。</p>				
受 講 の 留 意 点	授業には必ず辞書を持参すること。(高校時代使用していたもので構わない。)				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>基礎的な文法知識を使って短文から課題や授業内で 50~100words 程度のパラグラフ・ライティング練習を繰り返す。また、英語の基礎的な力を高めるために E ラーニングによる英語読解カトレニングを行う。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 グループワークを行い、英語での短いプレゼンテーションを最終的にグループごとに行ってもらおう。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：self-introduction・パラグラフフリーディングについて 2 A Short Story of Miniskirt 3 The Cutest Car Ever Made - The Mini ① 4 The Cutest Car Ever Made - The Mini ② 5 文法の確認① 6 Always in Fashion - The suits 7 The English Gentleman - Does He Really Exist Anymore? 8 映像資料を用いたアクティビティ 9 文法の確認② 10 London - How the Centre of the Financial World Started in a Coffee Shop 11 Football - The Beautiful Game in the World? 				

	12 TOEIC Reading にチャレンジ！
	13 TOEIC Listening にチャレンジ！
	14 ニュース記事を読もう
	15 ニュースを聞こう
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 45分 授業で使うテキストの内容に事前に目を通し、単語の推測後に辞書での単語の確認。課題(調べ物、確認、設問を解くことを含む)
	復習 45分 授業の内容を復習し、語彙や表現を身につける。
成績評価方法	Extensive Reading(20%) 小課題・小テスト(40%)グループワーク・プレゼンテーション (40%)
教科書 (購入必須)	なし。適宜プリントを配布する。
参考書 (購入任意)	

科 目 名	英語Ⅱ			
科 目 名 (英 語)	English II	シラバスNo.	250000021	
担 当 教 員 名	Martin Meadows			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切に実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	<p>1. While building on the vocabulary and reading comprehension skills acquired in English I, students will be able to read about a variety of topics and express their thoughts and feelings about those topics in English.</p> <p>2. Read at least 30,000 words of graded English materials in the library to strengthen their language skills and overall language competence.</p> <p>3. To understand the importance of continuing to learn English throughout one's life in a globalized society.</p>			
受 講 の 留 意 点	<p>There will be a lot of writing in this course and students are expected to submit regular and original assignments. "Copy-paste" and other forms of plagiarism will not be accepted. Mistakes are welcome so long as improvement is the goal and effort is apparent.</p>			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>Most of the writing will take place in Moodle-based activities. Structured activities and individual practice activities are expected to be completed as homework as well as in class. Over the semester, students will create an online portfolio of original paragraph</p>			

	<p>writings and short compositions. At the same time, regular and short freestyle writings will be undertaken to promote fluency and creativity. Writing topics will be drawn from current news and social networks.</p>
	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p>
<p>授 業 の 計 画</p>	<p>1 Week 1: Orientation & self-introductions - Course orientation: objectives and expectations - English Writing Manual - Capital letters, Sentences WRITING ASSIGNMENT #1 (Moodle) - Writing about yourself</p> <p>2 Week 2: - English Writing Manual - Sentences with "and", "or", and "but" WRITING ASSIGNMENT #2 (Moodle)</p> <p>3 Week 3: - English Writing Manual - Compound sentences WRITING ASSIGNMENT #3 (Moodle)</p> <p>4 Week 4: - English Writing Manual - Complex sentences, "Because" and "So" WRITING ASSIGNMENT #4 (Moodle)</p> <p>5 Week 5: - English Writing Manual - Subject-Verb agreement WRITING ASSIGNMENT #5 (Moodle)</p> <p>6 Week 6: - English Writing Manual - Tense agreement WRITING ASSIGNMENT #6 (Moodle)</p> <p>7 Week 7: - English Writing Manual - Single and plural nouns WRITING ASSIGNMENT #7 (Moodle)</p> <p>8 Week 8: - English Writing Manual - Finding & correcting mistakes with the writing checklist WRITING ASSIGNMENT #8 (Moodle)</p> <p>9 Week 9: - English Writing Manual - Finding and correcting mistakes with the writing checklist WRITING ASSIGNMENT #9 (Moodle)</p> <p>10 Week 10: - English Writing Manual - Email opening sentences WRITING ASSIGNMENT #10 (Moodle)</p> <p>11 Week 11: - English Writing Manual - Email opening sentences</p>

	12	- English Writing Manual - Email opening sentences WRITING ASSIGNMENT #11 (Moodle)	
	13	Week 12: - Composition writing: Introductory sentences WRITING ASSIGNMENT #12 (Moodle)	
	14	Week 13: - Composition writing: Supporting sentences WRITING ASSIGNMENT #13 (Moodle)	
	15	Week 14: - Composition writing: Concluding sentences WRITING ASSIGNMENT #14 (Moodle)	
		Week 15: Class time is reserved for completing assignments, consulting with the teacher, etc	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
	No particular preparation is required before class, but writing assignments to be completed after class will require some review of classroom material and between one and two hours of work per assignment.		
成績評価方法	Weekly online practice activities & collaborative writings (20pts), online portfolio writings (50pts), and supplemental extensive reading activities (30pts).		
教科書 (購入必須)	Assorted print and online materials.		
参考書 (購入任意)	None. However, purchase of a notebook computer is recommended.		

科 目 名	英語Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	EnglishⅡ	シラバスNo.	250000022		
担 当 教 員 名	ジョーダン・ハランド				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対 応 す る ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	知的好奇心を刺激する英語のテキストを教材とし、語彙力を高めると同時に、文脈から見知らぬ語も意味を推測し、読み進められるようになることを目標とする。また、それら知識を応用して、英語でのプレゼン（Show & Tell）ができるようになる。				
受 講 の 留 意 点					
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>中学高校で学んだこと、1年次に学んだことを素地に、応用力を養い、英語の総合力を底上げする。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 ①教師の説明を聞いて、教材を自分の言葉で和訳してみる。②学んだことを応用し、簡単なプレゼンを行う。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラスガイダンス 2 テーマ ゴミ問題 3 テーマ ゴミ問題 4 テーマ 羽生騎士のインタビュー 5 テーマ 羽生騎士のインタビュー 6 テーマ 偽薬効果 7 テーマ 偽薬効果 8 テーマ ストレスコントロール 9 テーマ ストレスコントロール 10 テーマ スティーブ・ジョブズのスピーチ 11 テーマ スティーブ・ジョブズのスピーチ 12 テーマ スティーブ・ジョブズのスピーチ 13 テーマ スティーブ・ジョブズのスピーチ 				

	1 4 テーマ スティーブ・ジョブズのスピーチ	
	1 5 Show & Tell	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分 教材にざっと目を通し、概要をつかむ
	復習	30分 履修した単語を覚える 小テストに備える
成績評価方法	小テスト（60点） moodle reading（30点） Show & Tell（5点） 授業への積極性（5点）	
教科書 （購入必須）	なし	
参考書 （購入任意）		

科 目 名	英語Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	EnglishⅡ	シラバスNo.	250000023		
担 当 教 員 名	マシュー・ネチャコフ				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	The objective of this course is to improve students' reading, writing and general English skills. The course is designed to encourage students to enjoy reading and writing in English, as well as give them the motivation to aim to improve their English skills independently.				
受 講 の 留 意 点	The majority of this class will be conducted in English.				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>There will be a variety of reading and writing activities on a number of common themes in everyday life as well as group activities focused on comprehension and creativity.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Active learning will take place through group activities conversations and discussions as well as presentations in class.</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Placement Test 2 Orientation/Introduction - overview of the semester and group introductions 3 Hobbies - writing a description of hobbies and sharing in groups 4 History - writing about a past event 5 Tones- how to write in various tones formal and informal 6 Essay writing - how to write an essay in English 7 Assignment #1 - writing an essay on a known topic 8 Invitations and Emails - how to write invitations and emails in English 9 Advertisements - written advertisements and language 10 Reporting - following clues to find an answer 11 Reporting 2 - how to summarize an article into a concise paragraph 12 News Articles - a deeper look into the language of biases in news 				

	13	Storytelling - short stories and their tropes	
	14	Storytelling - fairy tales and their tropes	
	15	Assignment #2 due date and class wrap-up	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
	Students should complete all assignments and come prepared to study English. Any homework will be assigned at the end of each class.		
成績評価方法	Extensive Reading (30) Weekly Free writing/ Journal (30) Assignments (40)		
教科書 (購入必須)	Binder for writing assignments		
参考書 (購入任意)	Japanese-English Dictionary (Print/Electronic/Smartphone Application) is highly recommended.		

科 目 名	英語Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	English II	シラバスNo.	250000024		
担 当 教 員 名	Miyazaki Chihaya				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	The objectives of this second part of this course are the same as the goals for English I. After the completion of both courses, the students are hoped to have gained more confidence and have to enjoyed reading materials in English.				
受 講 の 留 意 点	Students are expected to prepare for class by reading the given materials every week.				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>The classes will be based on the reading materials and students will work in groups to complete the weekly assignments and to solve the mysteries. Participation in the group work will be required from all students.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Introduction 2 Encyclopedia Brown Returns The Case of the Secret Pitch 3 Encyclopedia Brown Returns The Case of the Rubber Pillow 4 Encyclopedia Brown Returns The Case of Stomach Puncher 5 Encyclopedia Brown Returns The Case of Bug's Kidnapping 6 Encyclopedia Brown Returns The Case of Boy Bullfighter 7 Encyclopedia Brown Returns The Case of Divining Rod 8 Encyclopedia Brown Returns The Case of Telltale Paint 9 Encyclopedia Brown Returns The Case of Stolen Diamonds 10 Encyclopedia Brown Returns The Case of Missing Statue 11 Encyclopedia Brown Returns The Case of the House of Cards 12 Encyclopedia Brown Returns The Case of Bugs Meany, Detective 				

	13	Encyclopedia Brown Returns The Case of Underwater Car	
	14	Encyclopedia Brown Returns The Case of the Hungry Hitchhiker	
	15	Review	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
成績評価方法	Quizzes 60%		Online reading 30%
	Classroom Assignments and Participation in Group Work		10%
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out every week in class		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	英語Ⅱ		
科 目 名 (英 語)	English-Ⅱ	シラバスNo.	250000025
担 当 教 員 名	野村 太		
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位
開 講 時 期	前期	必修選択	必修
			開 講 形 態
			演習
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	<p>私は日系企業で海外駐在や海外出張の経験があり、価格交渉やクレーム処理、新規開拓、さらには関係官庁との調整なども経験しました。この経験を学生の皆さんと共有することで、国際的な環境に適応できる人材を育成したいと考えています。</p> <p>私への問い合わせや質問は、LINE でお送りいただければ、適切に回答いたします。</p>		
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 		
学 修 到 達 目 標	「私の授業を受講後、異文化の企業や顧客との応対（セールス、問い合わせ、クレーム処理、契約締結、条件交渉）において、より自信を持って臨むことができるようになると考えています。」		
受 講 の 留 意 点	授業中の居眠り、無断のスマホ操作は授業放棄とみなし、欠席に準ずる処置をとります。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>最新的话题をネット上の英語サイトから選び、プリントにして渡します。それを読みながら読解力を鍛え、さらには意見を英語で表現する練習を行います。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 みなさんが将来、公私の企業で働く際に起こりうるトラブルや課題についてその重大性を分析し、解決に向けてどうすべきかをケーススタディで検討します。3、4人のグループに分け、各班で議論した後、リーダーが前に出て発表する形をとります。</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 リーディング、リスニング（ニュース記事） 3 リーディング、リスニング（会話文） 4 リーディング、リスニング（広告） 5 リーディング、リスニング（学術論文） 6 リーディング、リスニング（TEDプレゼンテーション） 7 リーディング、リスニング（環境問題） 8 リーディング、リスニング（経済問題） 9 リーディング、リスニング（異文化理解） 10 リーディング、リスニング（旅行） 11 リーディング、リスニング（TOEIC対策） 		

	12	リーディング、リスニング（英検要約）
	13	リーディング、リスニング（ペアワーク）
	14	総合演習
	15	総合演習
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分 配布プリントに目を通す
	復習	30分 授業内容の確認・復習等
成績評価方法	授業態度20点、Moodle読書規定語数達成で30点。期末テスト50点合計100点で評価します。	
教科書 （購入必須）	使いません。	
参考書 （購入任意）	使いません。	

科 目 名	英語 II			
科 目 名 (英 語)	English II	シラバスNo.	250000026	
担 当 教 員 名	Herman Leung			
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	The objective of the second part of this course is the same as the goals for English 1. After completion of both courses, the students are hope to have gained a better knowledge of reading and writing.			
受 講 の 留 意 点	Students should complete all assignments and come prepared to study English.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>The class will continue with weekly free writing to develop skits in class along with additional assignments.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Group work and presentations</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction and self-introduction 2. Creative writing and Breaking News 3. Creative writing and Breaking News 4. Abstract dialogue 2 5. Structures in writing a skit 2 6. Video with worksheet 7. Choosing a theme in a skit 8. Developing a plot in a skit 9. Developing a climax in a skit 10. Video with worksheet 11. Making a recipe 2 12. Recipe presentation 13. Final exam explanation and preparation 14. Practice exam 15. Final exam 			

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	Students should prepare 15 minutes before class.
	復習	30分	Students should review their classwork and extensive reading.
成績評価方法	Classwork Assignments (30) Weekly Creative Writing (20) Moodle Readers (30) Final Exam (20)		
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out during class.		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	英語Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	EnglishⅡ	シラバスNo.	250000027		
担 当 教 員 名	森永 治之介				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。(社会福祉) ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<p>学生は、基本的な重要文法事項を理解でき、英語圏で日常目にする英語表現（新聞の見出し・ネット注文の表記・案内表示など）を理解できる。英和辞典を使用して、未知の語句の意味を適切に調べ、自ら語彙力を高めることができる。英文の構造を理解しながら、適切に文章の意味を読み取ることができる。学習した語彙・表現を用いて、自らの考えを英語で書くことができる。</p>				
受 講 の 留 意 点	<p>プリントは授業時に配布し、ムードルにも投稿する。欠席時はダウンロードし学習しておくこと。授業に関する案内をムードルに掲示することもあるため、定期的に確認すること。学生の習得度・興味や授業の進捗状況に応じて、取り扱う事項や進度を変更する場合もある。</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>学生は、配布プリントを用いて、以下の4つの学習に取り組む：新出語彙の意味検索、英文の和訳・読解演習、英作文作成・スピーチ発表、語彙定着確認の小テスト。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 グループ・ワーク、スピーチ発表</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション (Self-Introduction and Asking Questions) 2 英和辞典の使い方 (1) Animals 3 英和辞典の使い方 (2) Multiple-Meaning Words 4 文の構成 (節と句・主語と述語動詞) 5 動詞のかたち (現在・過去・進行形・完了形・受動態・助動詞) 6 形容詞・副詞のはたらき 7 News and Headlines 8 Signs in the City 9 Reading Fiction and Novels 10 Popular Songs and Poetry 11 Online Shopping and Booking 12 Health and Fitness 				

	13	Maps and Directions	
	14	Foreign City of My Dreams (1) Finding Information	
	15	Foreign City of My Dreams (2) Speech	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	配布プリントに目を通す（問題・課題を行う必要はない）
	復習	30分	授業内容の確認・小テストのための語彙暗記学習・Extensive Reading
成績評価方法	Extensive Reading（30%）・小テスト（20%）・課題/レポート/スピーチ発表（50%）		
教科書 （購入必須）	プリントを配布する		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	英語Ⅲ				
科 目 名 (英 語)	EnglishⅢ	シラバスNo.	250000030		
担 当 教 員 名	Martin Meadows				
学 年 配 当	3年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	選択	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切に実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<p>Building on skills acquired in compulsory 1st and 2nd-year English courses, students will:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)read an unabridged, original English-language book. 2)demonstrate comprehension by commenting on and discussing complex issues presented in the text. 3)develop simple presentation skills in oral English. 				
受 講 の 留 意 点	<p>Students are expected to complete the assigned weekly readings independently and in a timely manner so that they can contribute to classroom discussions. Students should participate actively in classroom activities by speaking out, voicing their opinions, and seeking help when needed. Some supplementary activities may be accessed online.</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>In this course, students will read the book TUESDAYS WITH MORRIE, which documents a series of conversations in the last days in the life of Morrie Schwartz, a university sociology professor. Each Tuesday conversation is shown as a lesson in living from a dying man. This book will be of interest for Health & Welfare students who, in the future, will have to interact with people nearing the end of their lives.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <p>Students are asked to participate in discussion of topics from the book as they apply to their own lives. Students take charge of selected chapters and present their impressions to the group. Weekly readings will be pre-assigned and, after a group review in the classroom, small-group discussions and presentations will take place.</p>				

授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Introduction & orientation 2 Movie - Tuesdays with Morrie Students watch the movie derived from the book. 3 The Student, The Audiovisual Pages 14~25 4 The Orientation, The Classroom, Taking Attendance Pages 26~47 5 The First Tuesday, The Second Tuesday Pages 48~61 6 The Third Tuesday, The Audiovisual (Pt.2), The Professor Pages 62~79 7 The Fourth Tuesday, The Fifth Tuesday Pages 80~99 8 The Sixth Tuesday, The Professor (Pt.2), The Seventh Tuesday Pages 100~122 9 The Eighth Tuesday, The Ninth Tuesday Pages 123~141 10 The Tenth Tuesday, The Eleventh Tuesday Pages 142~159 11 The Audiovisual (pt.3), The Twelfth Tuesday, The Thirteenth Tuesday Pages 160~180 12 The Fourteenth Tuesday, Graduation, Conclusion Pages 181~192 13 Afterword. Class discussion. 14 Individual presentations (1) 15 Individual presentations (2) 		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予 習	30 分	Review previous materials before the class
	復 習	30 分	Assignments and review after each class
成 績 評 価 方 法	Weekly reading assignments will require students to spend time outside of class preparing for upcoming lessons. Depending on ability and reading speed, this will range from one to three hours.		
教 科 書 (購 入 必 須)	TUESDAYS WITH MORRIE (Doubleday, 1997) & a variety of supplementary materials.		
参 考 書 (購 入 任 意)			

科 目 名	英語Ⅳ				
科 目 名 (英 語)	English IV	シラバスNo.	250000040		
担 当 教 員 名	Martin Meadows				
学 年 配 当	4年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	選択	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	This course focuses on consolidating and extending the range of skills developed in previous courses and prepares students for using English in academic contexts relevant to their own selected majors. Stress is placed on the development of academic writing skills such as summarizing, paraphrasing, and coherency.				
受 講 の 留 意 点	Students are encouraged to think critically, contribute to class activities, and take responsibility for their own learning by searching for study materials and defining their own goals in consultation with the instructor.				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <p>Course content is derived largely from students' interests and selected fields of study, making this a largely student-created syllabus that changes from year to year. Course materials are drawn from authentic academic sources selected by students themselves from library and online database resources. Academic research and writing skills are developed with the goal of preparing students for submission of an English abstract of their own graduation theses or other undergraduate research projects.</p>				

授 業 の 計 画	<p>Introduction & orientation: building a course of study in consultation with students</p> <p>Some topics that have been addressed in the past include:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Finding English academic resources in the library and online databases • Reading abstracts as paragraphs (organization and coherence) • Academic writing: Conventions and styles, specialized vocabulary • Academic writing: Avoiding plagiarism and direct translation • Academic writing: Developing summarizing skills for abstract writing • Academic listening with TED Talks 		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	30 分	Review previous materials before the class
	復習	30 分	Assignments and review after each class
	Students will be required to read independently outside of classroom time. It is recommended that students spend a minimum of 60 minutes reading and 30 minutes writing summaries in preparation for each class.		
成 績 評 価 方 法	Class participation (40pts), Homework & assignments (60pts)		
教 科 書 (購 入 必 須)	A variety of authentic materials such as newspaper articles & academic papers, etc will be used.		
参 考 書 (購 入 任 意)			

科 目 名	コミュニケーション英語 I			
科 目 名 (英 語)	Communication English I	シラバスNo.	250000050	
担 当 教 員 名	後藤 礼圭 (Hiroka Goto)			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切に実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	①基礎的な文法の知識を利用して、日常の事柄を平易な英語で表現する技術を身に付ける。 ②語彙力を強化するために図書館にある英語教材の本を 30000 語以上読む。 ③英語によるコミュニケーション能力を伸ばすだけでなく異文化理解を深める。			
受 講 の 留 意 点	授業には必ず辞書を持参すること。(高校時代使用していたもので構わない。)			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	基礎的な文法知識を使って短文から課題や授業内で 50~100words 程度のパラグラフ・ライティング練習を繰り返し行う。また、英語の基礎的な力を高めるために E ラーニングによる英語読解カトレーニングを行う。			
授 業 の 計 画	アクティブ・ラーニングの内容 グループワークを行い、英語での短いプレゼンテーションを最終的にグループごとに行ってもらおう。 <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：パラグラフリーディング・ライティングについて 2 What did you do during your summer vacation? 3 文法の確認① 4 Guided Writing: 手紙・Eメールの書き方 5 Fiction のパラグラフライティングと Order について 6 グループワーク： Short Fiction Story をつくろう 7 文法の確認② 8 Film Review① 9 Film Review② 10 アカデミック・ライティングとは？ 11 アカデミック・ライティング練習 12 グループワーク： Pictogram ① 			

	13	グループワーク : Pictogram ②
	14	グループワーク : Pictogram ③
	15	プレゼンテーション
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	45分 授業で使うテキストの内容に事前に目を通し、わからない単語やイディオムを調べる。
	復習	45分 授業の内容を復習する。ライティング課題のフィードバックを確認し間違った箇所や苦手な部分、新たな語彙を把握し覚える。
成績評価方法	Extensive Reading(20%) 小課題・小テスト(40%)グループワーク・プレゼンテーション (40%)	
教科書 (購入必須)	なし。適宜プリントを配布する。	
参考書 (購入任意)		

科 目 名	コミュニケーション英語 I				
科 目 名 (英 語)	Communication English I	シラバスNo.	250000051		
担 当 教 員 名	Martin Meadows				
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にしながら実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Use basic grammatical knowledge to develop the necessary skills for expressing everyday matters in plain English. 2. Read more than 30,000 words of graded English materials in the library to strengthen vocabulary and improve overall language competence. 3. Deepen understanding of different cultures and communication styles through an online, virtual exchange. 				
受 講 の 留 意 点	<p>Students will be expected to try to use English for the majority of communication conducted in the classroom. With a smaller class, participation in class activities is particularly important and students are strongly encouraged to both speak out and voice their opinions when able, and to ask for information and assistance when necessary. Students should take responsibility for their own learning and participate actively in pair and group activities. Students are also expected to learn how to use some computer-based applications required for the online exchange.</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>Using a Moodle-based virtual exchange platform, students will develop writing and speaking skills by posting textual and audio accounts of their daily lives and concerns in shared online forums. At the same time, listening and reading skills will be developed as students read and listen to posts made by their exchange counterparts. Students will not only gain an understanding of and appreciation for the daily concerns of English-language-learning students from a different culture, they will develop a greater appreciation of their own culture.</p>				
	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p>				

授 業 の 計 画	1	Orientation: Adding resources to Moodle Students will learn how to record and upload spoken utterances, pictures and video to an online Moodle course.	
	2	Adding resources to Moodle Students will further their introduction to Moodle by learning how to use various features of the platform.	
	3	Introduction to Cross-Cultural Communication Students will study about their exchange partner's countries and learn strategies for introducing themselves and their culture to foreigners unfamiliar with Japan.	
	4	Virtual Exchange (IVE) Students begin posting and interacting with foreign partners.	
	5	My Hometown (NCU Moodle) Students will describe features of interest about their home towns.	
	6	Virtual Exchange (IVE) Interaction with foreign partners.	
	7	Talking about Family Students will share information about their families and family activities.	
	8	Virtual Exchange (IVE) Interaction with foreign partners.	
	9	Jobs and Careers Students will introduce their part-time jobs and future career ambitions.	
	10	Virtual Exchange (IVE) Interaction with foreign partners.	
	11	Food and Eating Students will be able to discuss characteristics of their favorite foods, and be able to compare Japanese dishes with foreign foods.	
	12	Virtual Exchange (IVE) Interaction with foreign partners.	
	13	Healthy Living Students will be able to describe their strategies for healthy living and creating healthy living environments for others.	
	14	Virtual Exchange (IVE) Reflection on what was learned through interaction with foreign partners.	
	15	Final Exam or Assignment	
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	30 分	Reviewing posts to Moodle from classmates and foreign partners.
	復習	30 分	Participation in online Moodle exchange activities.
	Students should spend a recommended minimum of 30 minutes reviewing Moodle posts in preparation for class, and 60 minutes of active completion of Moodle exchange activities after each class.		
成 績 評 価 方 法	IVE participation; forum posts and replies (25 pts), Extensive reading (25 pts), Moodle-based quizzes, activities, and assignments (50 pts),		
教 科 書 (購 入 必 須)	Online materials in the Moodle-based course.		
参 考 書 (購 入 任 意)			

科 目 名	コミュニケーション英語 I			
科 目 名 (英 語)	Communication English I	シラバスNo.	250000052	
担 当 教 員 名	ジョーダン・ハラード			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	英語をコミュニケーションの道具として活用する。			
受 講 の 留 意 点				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>インプット中心だった前期の学習内容を応用し、英語で発信する能力を養う。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 ①教材に出てくる英語表現を応用し、英作文の訓練をする ②ペアを組み、英語による寸劇原稿を作成し、実際、演じてみる。</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラスガイダンス 2 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 3 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 4 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 5 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 6 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 7 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 8 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 9 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 10 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 11 寸劇の準備 12 寸劇の準備 13 寸劇の準備 			

	1 4 寸劇の準備	
	1 5 寸劇の発表	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分 教材に目を通し、概要をつかむ
	復習	30分 履修した表現を復習する 小テストに備える
成績評価方法	小テスト(60点) moodle reading(30点) 寸劇発表(5点) 授業への積極性(5点)	
教科書 (購入必須)	なし	
参考書 (購入任意)		

科 目 名	コミュニケーション英語 I			
科 目 名 (英 語)	Communication English I	シラバスNo.	250000053	
担 当 教 員 名	マシュー・ネチャコフ			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	The objective of this course is to improve students' speaking, listening and general English skills. The course is designed to encourage students to enjoy communicating in English, as well as give them the motivation to aim to improve their English communication skills independently.			
受 講 の 留 意 点	The majority of this class will be conducted in English.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>There will be a variety of conversational activities as well as group activities focused on comprehension and creativity.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Active learning will take place through group activities, conversations, and discussions as well as presentations in class.</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Orientation - Review of Spring semester and introduction of the fall/winter semester. 2 Describing Life in Japan - Discussion of Fall/Winter life in Hokkaido 3 Introducing IVE - What is the International Virtual Exchange and what is expected 4 Introducing Japanese Yokai and Monsters - how to explain the cultural history of Yokai 5 International Virtual Exchange class - Focusing on the IVE and communication between other cultures 6 Giving instructions - Introducing the final video cooking project and showing examples 7 International Virtual Exchange class - Focusing on the IVE and communication between other cultures 			

	8	International Virtual Exchange Closing - Talking about the exchange and what students gained from it	
	9	The Good Place - Group poster presentation preparation	
	10	The Good Place - Group poster presentations	
	11	Describing events - pair work of describing images and videos	
	12	Communication activities - Group activities focusing on communication and teamwork	
	13	Mini-debate - Debate preparation and how to argue an idea	
	14	Mini-debate - Rebuttal preparation and mini-debate day	
	15	Closing class - wrapping up the year and reviewing what we did	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
	Students should complete all assignments and come prepared to study English. Any homework will be assigned at the end of each class.		
成績評価方法	Extensive Reading (30) Mini Assignments (20) Final Assignment (30) International Virtual Exchange (20)		
教科書 (購入必須)	Clear file to keep handouts		
参考書 (購入任意)	Japanese-English Dictionary (Print/Electronic/Smartphone Application) is highly recommended.		

科 目 名	コミュニケーション英語 I			
科 目 名 (英 語)	Communication English I	シラバスNo.	250000054	
担 当 教 員 名	Miyazaki Chihaya			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	
開 講 時 期		資格要件		
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	This course is designed to focus on the speaking skills of the students in hopes to improve their abilities to communicate in English.			
受 講 の 留 意 点	Student should come to class, prepared to speak and study in groups for each lesson. Participation will be a very important part of this course.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	Classes will focus on a different topic every week. The students are encouraged to openly share their own experiences, ideas and interests with their group members. There will be a variety of speaking assignments.			
授 業 の 計 画	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Introduction 2 Similarities 3 Deserted Island 4 Making Quizzes 5 Lifeboat 6 How Much? 7 Guess Who? 8 I have a problem... 9 What if...? 10 Punch Bowl 11 Health Habits 12 Preparation for presentation 			

	13	Preparation for presentation	
	14	Preparation for presentation	
	15	Presentation	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
成績評価方法	Class participation 60% Extensive Reading 30% Final Presentation 10%		
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out every week in class		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	コミュニケーション英語 I				
科 目 名 (英 語)	communication English- I	シラバスNo.	250000055		
担 当 教 員 名	野村 太				
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	私は日系企業で海外駐在や海外出張の経験があり、価格交渉やクレーム処理、新規開拓、さらには関係官庁との調整なども経験しました。この経験を学生の皆さんと共有することで、国際的な環境に適應できる人材を育成したいと考えています。				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	「私の授業を受講後、異文化の企業や顧客との応対（セールス、問い合わせ、クレーム処理、契約締結、条件交渉）において、より自信を持って臨むことができるようになると考えています。」				
受 講 の 留 意 点	授業中の居眠り、無断のスマホ操作は授業放棄とみなし、欠席に準ずる処置をとります。				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>最新的话题をネット上の英語サイトから選び、プリントにして渡します。それを読みながら読解力を鍛え、さらには意見を英語で表現する練習を行います。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 みなさんが将来、公私の企業で働く際に起こりうるトラブルや課題についてその重大性を分析し、解決に向けてどうすべきかをケーススタディで検討します。3、4人のグループに分け、各班で議論した後、リーダーが前に出て発表する形をとります。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 自己紹介 クラス全員の前でスピーチ 3 ライティングスキル（英文メール件名） 4 ライティングスキル（挨拶言葉） 5 ライティングスキル（目的、内容） 6 ライティングスキル（返信の要否） 7 スピーキングスキル（図表の説明） 8 スピーキングスキル（手順の説明） 9 スピーキングスキル（ストーリーテリング） 10 スピーキングスキル（プレゼンテーション） 11 スピーキングスキル（ディベート） 				

	12	スピーキングスキル（ロールプレイング）	
	13	総合演習	
	14	総合演習	
	15	総合演習	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	配布プリントに目を通す
	復習	30分	授業内容の確認・復習等
成績評価方法	授業態度20点、Moodle読書規定語数達成で30点。期末テスト50点合計100点で評価します。		
教科書 （購入必須）	使いません。		
参考書 （購入任意）	使いません。		

科 目 名	コミュニケーション英語 I		
科 目 名 (英 語)	Communication English I	シラバスNo.	250000056
担 当 教 員 名	Herman Leung		
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位
開 講 時 期	後期	必修選択	必修
		資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 		
学 修 到 達 目 標	The objective of this course is to build confidence and improve students' abilities conversing in English.		
受 講 の 留 意 点	Students should come prepared to speak and study English. Class participation is highly expected for this course.		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>The class will focus on writing, directing, and acting in their own skits along with a variety of role-playing activities.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Group work and presentations.</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction 2. Future: Going to/Gonna 3. Crazy Quiz role-play/Why did you? 4. Booking a hotel 5. Reading and acting theater skits 6. Writing and acting in a skit 7. Video and worksheet 8. Making a commercial 9. Commercial presentation 10. Using American phrases 11. Group skit 12. Group skit presentation 13. Term project explained 14. Term project preparation 15. Term project presentation 		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予 習	15 分	Students should prepare 15 minutes before class.
	復 習	30 分	Students should review their classwork and extensive reading.

成績評估方法	Class participation/assignments (40) Term Project (30) Moodle Readers (30)
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out during class.
參考書 (購入任意)	

科 目 名	コミュニケーション英語 I			
科 目 名 (英 語)	Communication English I	シラバスNo.	250000057	
担 当 教 員 名	森永 治之介			
学 年 配 当	1 年	単 位 数	1 単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切に実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	<p>学生は、文法間違いを恐れず積極的に、短くシンプルな構造の英文を用いて英語での会話を行うことができる。また、日常会話で頻繁に使用できる定例文を記憶し、状況に応じて発信できるとともに、短い英文を聞いて理解し、自分も簡単な英語で応答できる。相槌や感嘆詞・日常生活で用いられる俗語表現などの口語表現も身につけ、反射的に英語で反応できるようになる。</p>			
受 講 の 留 意 点	<p>プリントは授業時に配布し、ムードルにも投稿する。欠席時はダウンロードし学習しておくこと。授業に関する案内をムードルに掲示することもあるため、定期的に確認すること。学生の習得度・興味や授業の進捗状況に応じて、取り扱う事項や進度を変更する場合もある。</p>			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>学生は、配布プリントを用いて、以下の4つの学習に取り組む：会話テーマに関する語彙の意味検索とサンプル会話での会話練習、特定の音声の発音練習と発音小テスト、語彙定着確認の小テスト、グループでのプレゼン準備及び発表。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 グループ・ワーク、グループ・プレゼンテーション</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーションとウォームアップ 2 あいさつ・自己紹介・相手のことを尋ねる 3 好き嫌いと趣味について話す 4 Mini Presentation Meeting Host Family 準備と発表 5 道案内と時間の表現 6 レストランで注文する 7 Presentation # 1 A Date in NYC 準備 8 Presentation # 1 A Date in NYC 発表 9 旅行計画（1） 飛行機・ホテルの予約をする 10 旅行計画（2） 観光名所・アクティビティを探す 11 Presentation # 2 Planning an International Trip 準備 			

	12	Presentation # 2	Planning an International Trip	発表
	13	Winter Break Survey		
	14	Presentation # 3 (Final Project)	Memoirs of Our Journey	準備
	15	Presentation # 3 (Final Project)	Memoirs of Our Journey	発表
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	配布プリントに目を通す（問題・課題を行う必要はない）	
	復習	30分	授業内容の確認・小テストのための語彙暗記学習・Extensive Reading	
成績評価方法	Extensive Reading（30%）・小テスト（20%）・発表（50%）			
教科書 （購入必須）	プリントを配布する			
参考書 （購入任意）				

科 目 名	コミュニケーション英語 II			
科 目 名 (英 語)	Communication English II	シラバスNo.	250000060	
担 当 教 員 名	後藤 礼圭 (Hiroka Goto)			
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切に実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	<p>①基礎的な文法の知識を利用して、日常の事柄を平易な英語で表現する技術を身に付ける。</p> <p>②語彙力を強化するために図書館にある英語教材の本を 30000 語以上読む。</p> <p>③英語によるコミュニケーション能力を伸ばすだけでなく異文化理解を深める。</p>			
受 講 の 留 意 点	授業には必ず辞書を持参すること。(高校時代使用していたもので構わない。)			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>基礎的な文法知識を使って短文から課題や授業内で 50~100words 程度のパラグラフ・ライティング練習を繰り返し行う。また、英語の基礎的な力を高めるために E ラーニングによる英語読解力トレーニングを行う。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 グループワークを行い、英語での短いプレゼンテーションを最終的にグループごとに行ってもらおう。</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：パラグラフリーディング・ライティングについて 2 What did you do during your summer vacation? 3 文法の確認① 4 好きなものを宣伝・紹介する① 準備 5 好きなものを宣伝・紹介する② 発表 6 文法の確認② 7 アカデミック・ライティングの書き方 8 アカデミック・ライティング練習 9 アカデミック・ライティング練習 10 Film Activities① 			

	11 Film Activities②		
	12 グループワーク : University Original Goods ①		
	13 グループワーク : University Original Goods ②		
	14 グループワーク : University Original Goods ③		
	15 プレゼンテーション		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	45分	授業で使うテキストの内容に事前に目を通し、わからない単語やイディオムを調べる。
	復習	45分	授業の内容を復習する。ライティング課題のフィードバックを確認し間違った箇所や苦手な部分、新たな語彙を把握し覚える。
成績評価方法	Extensive Reading(20%) 小課題・小テスト(40%)グループワーク・プレゼンテーション (40%)		
教科書 (購入必須)	なし。適宜プリントを配布する。		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	Communication English II	シラバスNo.	250000061		
担 当 教 員 名	Martin Meadows				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切に実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 				
学 修 到 達 目 標	<p>1. To further develop the communication skills acquired in English for Communication I. Students will write paragraphs in English that express their thoughts and feelings on a certain topic.</p> <p>2. Read more than 30,000 words of graded English materials in the library to strengthen vocabulary and improve overall language competence.</p> <p>3. Learn the fun and importance of communicating in English in a globalized society by experiencing different cultures through the study of English.</p>				
受 講 の 留 意 点	Students are strongly encouraged to both speak out and voice their opinions when able, and to ask for information and assistance when necessary. Students will be required to install some applications on their mobile devices if they choose to use them rather than the available tablets provided by the teacher.				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>Through the use of interactive video materials, students will further develop cross-cultural communication skills by reflecting on aspects of Japanese culture and how to communicate their own customs, beliefs and values as Japanese to a foreign audience. Students will develop their ideas through both oral and written discussion with classmates then present their perspectives in a voice-narrated slideshow or video. Depending on availability, students will have the opportunity to interact with English-language learners abroad in an online, virtual exchange where foreign students will share their own cultural values and perspectives on the same topics and issues examined by the Japanese students.</p>				
	アクティブ・ラーニングの内容				

授 業 の 計 画	1 Orientation and Introduction: Cool Japan – Cool Nayoro		
	2 Learning the Tools Students will learn to use the required mobile apps for creating slideshow presentations. They will also be shown how to interact with the Moodle-based, speaking and video activities.		
	3 University Life Students will describe their student lives at NCU; studies, clubs, part-time jobs, practicum experiences, etc		
	4 International Virtual Exchange (Spanish HS students in 2021-23) Students begin posting and interacting with foreign partners.		
	5 Washoku Students will discuss the features of Japanese cuisine and what constitutes ‘washoku’.		
	6 International Virtual Exchange Interaction with foreign partners.		
	7 Figure: Dieting, Body-building, and Fasting Students will share their thoughts on health-related activities that work to maintain a healthy body.		
	8 International Virtual Exchange Interaction with foreign partners.		
	9 Good Luck / Bad Luck Students will talk about Japanese customs and personal beliefs concerning good fortune and luck.		
	10 International Virtual Exchange Interaction with foreign partners.		
	11 Winter Life in Hokkaido Students will consider how they deal with living in a cold, snowy climate and change their behaviours according to the seasons.		
	12 International Virtual Exchange Interaction with foreign partners.		
	13 Cool Nayoro Students will reflect on their lives in Nayoro and prepare a presentation about what is “cool” for them about NCU and Nayoro.		
	14 International Virtual Exchange Reflection on what was learned through interaction with foreign partners.		
	15 Cool Nayoro: Final Exam or Assignment		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	30 分	Reviewing posts to Moodle from classmates and foreign partners.
	復習	30 分	Preparation of material for slideshow presentations.
	Students will need to spend at least an hour outside of class time preparing their slide show presentations, and they are also recommended to review posts from international exchange students regularly throughout the week.		
成 績 評 価 方 法	Extensive Reading (20pts) Participation in forums, online activities, and virtual exchange activities (30pts), Video/slideshow presentation assignments (50pts)		
教 科 書 (購 入 必 須)	A variety of online materials, including Cool Japan videos and student-created content.		

参 考 書
(購 入 任 意)

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ			
科 目 名 (英 語)	Communication EnglishⅡ	シラバスNo.	250000062	
担 当 教 員 名	ジョーダン・ハラード			
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	中英校及び1年次で学んだことをさらに応用し、英語をコミュニケーションの道具として活用する。			
受 講 の 留 意 点				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>インプット中心だった前期の学習内容を応用し、英語で発信する能力を養う。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 ①教材に出てくる英語表現を応用し、英作文の訓練をする ②ペアを組み、英語による寸劇原稿を作成し、実際、演じてみる。</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラスガイダンス 2 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 3 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 4 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 5 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 6 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 7 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 8 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 9 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 10 コミュニケーションで使える英語を映画のセリフから学び、応用する 11 寸劇の準備 12 寸劇の準備 			

	13	寸劇の準備	
	14	寸劇の準備	
	15	寸劇の発表	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	教材に目を通し、概要をつかむ
	復習	30分	履修した表現を復習する 小テストに備える
成績評価方法	小テスト（60点） moodle reading（30点） 寸劇発表（5点） 授業への積極性（5点）		
教科書 （購入必須）	なし		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ			
科 目 名 (英 語)	Communication English Ⅱ	シラバスNo.	250000063	
担 当 教 員 名	マシュー・ネチャコフ			
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	The objective of this course is to improve students' communication skills in English. The course is designed to encourage students to enjoy speaking and listening in English, as well as give them the motivation to aim to improve their English skills independently.			
受 講 の 留 意 点	The majority of this class will be conducted in English.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>There will be a variety of group activities on a number of common themes in everyday life as well as group activities focused on comprehension and creativity.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Active learning will take place through group activities conversations and discussions as well as presentations in class.</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Orientation - review of the first semester and overview of the Fall semester. 2 Show and Tell introduction - overview and discussion of the presentation topic 3 Describing images and events - watching videos and describing to a partner what happens 4 Following Instructions - pair work of how to give and follow instructions in English 5 Commercials and Advertising - how to promote something and the difference between advertising in Japan and Western countries 6 Final Assignment Introduction - explain the final assignment and show examples 7 Debate Preparation 1 - introduction on how to debate 8 Debate Preparation 2 - preparing the debate in groups 9 In-class Debate - debate against other groups on a chosen topic 10 Traditions and Events - how to introduce cultural events in groups 			

	11 Future Goals - talking about New Year's Resolutions and goals 12 The Good Place - describing a perfect paradise and reasons why 13 Group Discussions - looking at current events and discussing them 14 Group Activities - various communication-based activities 15 Closing and Review - review of the year and finishing the class		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Review previous materials before the class
	Students should complete all assignments and come prepared to study English. Any homework will be assigned at the end of each class.		
成績評価方法	Extensive Reading (30) Weekly Journals (10) Show and Tell Presentation(30) Final Assignment (30)		
教科書 (購入必須)	Clear file to hold handouts		
参考書 (購入任意)	Japanese-English Dictionary (Print/Electronic/Smartphone Application) is highly recommended.		

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ			
科 目 名 (英 語)	Communication English II	シラバスNo.	250000064	
担 当 教 員 名	Miyazaki Chihaya			
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	
開 講 時 期		資 格 要 件	教職：必修	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	The objectives of the second part of this course are the same as the goals for Communication I. After the completion of the both course, the students are hoped to have gained more confidence in speaking English and have enjoyed working together in groups with other classmates.			
受 講 の 留 意 点	Student should come to class, prepared to speak and study in groups for each lesson. Participation will be a very important part of this course.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	Classes will focus on a different topic every week. The students are encouraged to openly share their own experiences, ideas and interests with their group members. There will be a variety of speaking assignments.			
授 業 の 計 画	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Introduction 2 Similarities 3 Two Truths , One Lie 4 Occupation 5 Invitations 6 Problems in... 7 Picture of a place 8 Preparation for debate 9 Preparation for debate 10 Preparation for debate 11 Debate 12 Preparation for presentation 			

	13	Preparation for presentation	
	14	Preparation for presentation	
	15	Presentation	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	Review previous materials before the class
	復習	30分	Assignments and review after each class
成績評価方法	Class participation 60% Extensive Reading 30% Final Presentation 10%		
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out every week in class		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ		
科 目 名 (英 語)	communication English-Ⅱ	シラバスNo.	250000065
担 当 教 員 名	野村 太		
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位
開 講 時 期	後期	必修選択	必修
		資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	私は日系企業で海外駐在や海外出張の経験があり、価格交渉やクレーム処理、新規開拓、さらには関係官庁との調整なども経験しました。この経験を学生の皆さんと共有することで、国際的な環境に適応できる人材を育成したいと考えています。		
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 		
学 修 到 達 目 標	「私の授業を受講後、異文化の企業や顧客との応対（セールス、問い合わせ、クレーム処理、契約締結、条件交渉）において、より自信を持って臨むことができるようになると考えています。」		
受 講 の 留 意 点	授業中の居眠り、無断のスマホ操作は授業放棄とみなし、欠席に準ずる処置をとります。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>最新の話題をネット上の英語サイトから選び、プリントにして渡します。それを読みながら読解力を鍛え、さらには意見を英語で表現する練習を行います。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 みなさんが将来、公私の企業で働く際に起こりうるトラブルや課題についてその重大性を分析し、解決に向けてどうすべきかをケーススタディで検討します。3、4人のグループに分け、各班で議論した後、リーダーが前に出て発表する形をとります。</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 自己紹介 クラス全員の前でスピーチ 3 ライティングスキル（英文メール件名） 4 ライティングスキル（挨拶言葉） 5 ライティングスキル（目的、内容） 6 ライティングスキル（返信の要否） 7 スピーキングスキル（図表の説明） 8 スピーキングスキル（手順の説明） 9 スピーキングスキル（ストーリーテリング） 10 スピーキングスキル（プレゼンテーション） 		

	11	スピーキングスキル (ディベート)	
	12	スピーキングスキル (ロールプレイング)	
	13	総合演習	
	14	総合演習	
	15	総合演習	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	配布プリントに目を通す
	復習	30分	授業内容の確認・復習等
成績評価方法	授業態度20点、Moodle読書規定語数達成で30点。期末テスト50点合計100点で評価します。		
教科書 (購入必須)	使いません。		
参考書 (購入任意)	使いません。		

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ			
科 目 名 (英 語)	Communication English II	シラバスNo.	250000066	
担 当 教 員 名	Herman Leung			
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	The objective of this course is to build confidence and improve students' abilities conversing in English.			
受 講 の 留 意 点	Students should come prepared to speak and study English. Class participation is highly expected for this course.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>The class will continue to focus on writing, directing, and acting in their own skits along with a variety of role-playing activities.</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 Group work and presentations.</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction 2. Group stories go around 3. Crazy Quiz 2 and role-play (Why did you?) 4. Reading and acting theater skits 2 5. Video and worksheet 6. Writing and acting in a skit 2 7. Making a commercial 2 8. Commercial Presentation 9. American Idioms 10. Group skit 11. Group skit rehearsal 12. Group skit presentation 13. Term project explained 14. Term project preparation 15. Term project presentation 			

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	Students should prepare 15 minutes before class.
	復習	30分	Students should review their classwork and extensive reading.
成績評価方法	Class participation/assignments (40) Term Project (30) Moodle Readers (30)		
教科書 (購入必須)	Materials will be handed out during class.		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ			
科 目 名 (英 語)	Communication English Ⅱ	シラバスNo.	250000067	
担 当 教 員 名	森永 治之介			
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	必修	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
学 修 到 達 目 標	<p>学生は、比較的長く複雑な英文や専門的語彙を用いた会話を理解することができる。社会問題や各専門分野に関する語句や定例文を記憶し、会話中で理解し用いることができる。他の専攻で学習しているトピックについても、興味をもって取り組むことができる。相槌や感嘆詞・日常生活で用いられる俗語表現などの口語表現も身につけ、反射的に英語で反応できるようになる。</p>			
受 講 の 留 意 点	<p>プリントは授業時に配布し、ムードルにも投稿する。欠席時はダウンロードし学習しておくこと。授業に関する案内をムードルに掲示することもあるため、定期的に確認すること。学生の習得度・興味や授業の進捗状況に応じて、取り扱う事項や進度を変更する場合もある。</p>			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>学生は、配布プリントを用いて、以下の4つの学習に取り組む：会話テーマに関する語彙の意味検索とサンプル会話での会話練習、特定の音声の発音練習と発音小テスト、語彙定着確認の小テスト、グループでのプレゼン準備及び発表。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 グループ・ワーク、グループ・プレゼンテーション</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、いろいろな社会問題 2 環境問題 # 1 Climate Crisis 3 環境問題 # 2 Food Waste and Plastic Waste 4 Mini Presentation Social Issues 準備と発表 5 栄養 Obesity and Nutrition Fact 6 看護 Common Illness and Diseases 7 Presentation # 1 栄養と看護 準備 8 Presentation # 1 栄養と看護 発表 9 社会福祉 Super-Aging Society 10 社会保育 Shortage of Childcare Workers 11 Presentation # 2 社会福祉と社会保育 準備 			

	12	Presentation # 2	社会福祉と社会保育	発表
	13	The Future of Care 「ケアの未来」	Understanding Beyond Different Majors	
	14	Presentation # 3 (Final Project)	ケアの未来	準備
	15	Presentation # 3 (Final Project)	ケアの未来	発表
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	配布プリントに目を通す(問題・課題を行う必要はない)	
	復習	30分	授業内容の確認・小テストのための語彙暗記学習・Extensive Reading	
成績評価方法	Extensive Reading (30%)・小テスト(20%)・発表(50%)			
教科書 (購入必須)	プリントを配布する			
参考書 (購入任意)				

科 目 名	コミュニケーション英語Ⅲ			
科 目 名 (英 語)	Communication EnglishⅢ	シラバスNo.	250000070	
担 当 教 員 名	Martin Meadows			
学 年 配 当	3年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	後期	必修選択	選択	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 ・異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にしながら実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 			
対応する ディプロマ・ポリシー				
学 修 到 達 目 標	This course focuses on broadening the listening and speaking skills developed in Communication I and II through the development of discourse and presentation skills. Students will acquire language and critical thinking skills that enable them to discuss and debate particular issues of personal relevance, organizing their ideas for coherence and supporting their opinions with reason and evidence. Students will make an academic presentation in English at course end.			
受 講 の 留 意 点	Students will be expected to try to use English for all communication conducted in the classroom. Active participation is necessary and students will be urged to contribute to discussions and debates.			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	Classroom discussion and debate of a variety of contemporary social issues that affect our daily lives will take place in pairs and small groups. If numbers allow, students will take part in organized classroom debates and be required to judge debates made by their classmates. Finally, students will research and prepare an academic presentation on a topic of interest to them. To that end, students will design and conduct a survey to gather evidence in support of their proposition and practice debate strategies that will help them to organize their ideas for coherence and impact.			
	アクティブ・ラーニングの内容			

授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Orientation and Introduction 2 What's your opinion? 3 Explain your opinion 4 Support your opinion 5 Gathering evidence 6 Organizing your evidence 7 Creating your survey with Google Forms 8 Conducting your survey 9 Presenting your survey results 10 Refuting arguments 11 Challenging supports and evidence 12 Preparing a Powerpoint presentation 13 Class debate 14 Final presentations (1) 15 Final presentations (2) 		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	30 分	Review previous materials before the class
	復習	30 分	Assignments and review after each class
	Surveys and data collection in preparation for their research projects will require students to spend time outside of class preparing, reviewing, and revising their draft presentations.		
成 績 評 価 方 法	Participation in classroom discussion/debate (40pts), questionnaire/mini-presentation (20pts) and final presentation/research project (40pts).		
教 科 書 (購 入 必 須)	A variety of printed materials prepared by the teacher.		
参 考 書 (購 入 任 意)			

科 目 名	入門ハングル				
科 目 名 (英 語)	Introduction to Korean	シラバスNo.	250000080		
担 当 教 員 名	黄 京性				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	選択	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。</p> <p><看護学科> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>				
学 修 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルの構造の特徴を知るようになる ・基礎的な会話を話せるようになる 				
受 講 の 留 意 点	日本語と韓国語の類似点に気付くように努力する				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>言語体系が同じであり他の言語より類似点が多い韓国語であることを理解したうえで楽しめる学習方法を身につける。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 ・学生と教員そして学生と学生間の実践的な対話形式を通して、実際に基本的なコミュニケーション能力を身につける。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ハングルの構造を学習する 2 基礎的文法と表現を学習する 3 日本語とハングル語の類似語を理解する 4 ハングル語の子音と母音を理解する 5 終声（バッチム）の特徴と日本語の関係を理解する 6 日本語のハングル表記を学習する 7 会話：自己紹介を学習する 8 会話：趣味などの表現を学ぶ 9 会話：です形、ます形を学習する 10 会話：否定形の表現を学習する 11 会話：未来形、可能形を表現する 12 会話：固有数詞、漢数字を学習する 13 会話：—したい。—しましょう。の表現を学ぶ 14 学んだ表現を組み合わせて表現する 15 まとめ 				
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	30分	次回予定の教科書の内容を自ら調べながら声に出し紙に書いてみる。 音楽やドラマの短編的な表現を少しずつ覚える努力もやってみる。		

	復習	30分	授業で学習した内容を繰り返し読み書きを行い実際に人に話してみる。
	事前学習用の資料を配布する		
成績評価方法	期末試験（100%）		
教科書 （購入必須）	楽しく学べる韓国語（百水社）		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	入門ドイツ語				
科 目 名 (英 語)	Introduction to German	シラバスNo.	250000090		
担 当 教 員 名	古牧 徳生				
学 年 配 当	2年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	選択	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。</p> <p><看護学科> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切に実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>				
学 修 到 達 目 標	ロシアと NATO の対立が深刻化しつつあるいま、ヨーロッパの中央に位置し EU 経済を牽引するドイツは再び地域大国として復権を果たしつつある。その言葉はドイツ、オストリー、スイスなど一億人の言語人口を有し、学芸において近代古典語ともいうべき地位を占めている。発音は非常に単純でほぼローマ字読み、文法はだいたい英語と同じだが英語よりも規則的、英語より複雑なのは形容詞の格変化だけである。英語と同じ西ゲルマン語族であるドイツ文法の知識を持つことは、英文法をあらためて理解する助けにもなる。本授業ではその基本文法を声を出し、手で書いて習得し、あとは辞書があればおおよその意味がとれる程度まで基礎力の充実をめざしたい。				
受 講 の 留 意 点	辞書は必要ないが、毎年 4 人までなら貸している。毎回プリントが出るので必ず予習をしてこること。				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	教科書のほかにプリントで問題を配布する。それを授業の時に一問ずつ進めながら、冠詞や形容詞の変化を声に出し、書いて習得していこう。形容詞の規則的な変化さえ押さえれば、実はドイツ語は英語よりもはるかに学びやすい言語であることがわかってくるだろう。また二つの言葉が文法的にほぼ同じものであることが分かれば、あちらの言葉は基本的に方言の違いであること、ひいては日本語の独自性が理解できよう。				
授 業 の 計 画	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 動詞の現在人称変化 (1) 2 名詞と冠詞の格変化 3 名詞の複数形 人称代名詞 4 動詞の現在人称変化 (2) 命令法 5 定冠詞類 不定冠詞類 6 前置詞 7 話法の助動詞 未来形 非人称動詞 8 分離動詞と非分離動詞 接続詞 9 動詞の三基本形 過去人称変化 10 現在完了 再帰表現 11 形容詞の格変化 (1) 12 形容詞の格変化 (2) 13 形容詞と副詞の比較変化 zu 不定詞 				

	14 関係代名詞 指示代名詞	
	15 受動態	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分 まずは教科書を予習しよう。声に出して紙に書こう。発音は簡単だから覚えやすい。
	復習	30分 授業の後は復習として配布したプリントに取り掛かろう。
成績評価方法	授業への積極的態​​度や課題をもって評価する。	
教科書 (購入必須)	Deutsche Grammatik System und Praxis 郁文堂	
参考書 (購入任意)		

科 目 名	入門手話				
科 目 名 (英 語)		シラバスNo.	250000100		
担 当 教 員 名	福島 麻由美				
学 年 配 当	栄・看・社保：2年 社 福：1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	後期	必 修 選 択	選 択	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	手話通訳士・北海道登録通訳・名寄市聴覚障害者協力員として活動中。通訳経験から、聴覚障害者・手話通訳者の現状についても講義。				
対応する ディプロマ・ポリシー	<栄養学科> ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <看護学科> ・職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 <社会福祉学科> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 <社会保育学科> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。				
学 修 到 達 目 標	言語としての手話の位置づけについて理解し、手話で挨拶、簡単な自己紹介ができるようになる。				
受 講 の 留 意 点	毎時間、講義 50%、実技 50%を目安に進める。 手話実技では、必ず手を動かすように。				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容					
授 業 の 計 画	1 手話を学ぶにあたって 2 聴覚障害者について 指文字の表し方・前半 3 手話の成り立ちと歴史 指文字の表し方・後半 4 自己紹介 1 自分の名前を表してみよう 5 自己紹介 2 年齢や誕生日を表してみよう 数詞の表し方 6 全国の都道府県名・前半 7 全国の都道府県名・後半 8 自己紹介 3 出身地 9 自己紹介 4 趣味 10 単語の数を増やそう 1 家族関係の表現 11 単語の数を増やそう 2 自然現象や色の表現 12 文章の基本 1 疑問文の作り方・答え方 13 文章の基本 2 文末の表現 14 文章の基本 3 可能・不可能・推量の表現 15 まとめ				
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	15分			
	復習	30分			
成 績 評 価 方 法	手話の習得 70% 毎回のコメントシート 30%				

教科書 (購入必須)	使用しない 必要に応じてプリントを配布する
参考書 (購入任意)	

科 目 名	基礎演習		
科 目 名 (英 語)	Basic Seminar	シラバスNo.	250000110
担 当 教 員 名	古牧・荻野・小西・清水・石川・今野・後藤・メドウズ・各学科教員 2名		
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位
開 講 時 期	通年	必修選択	必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	資格要件		
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 5 知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち継続的に自己研鑽する力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 		
学 修 到 達 目 標	<p>「基礎演習」は、大学で学ぶために必要な基本的なリテラシー（読み書き能力）とコミュニケーション力を育むことを目標とする。受講生は具体的に以下のことを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点をつかみながら文章を読む力を身に付ける。 ・文章を書くための基礎（主語と述語の関係、修飾する側とされる側、句読点など）を学ぶ。 ・ディスカッションを通じて複眼的・多角的視点を育む。 ・文献調査、資料検索などの情報収集ができる力を身に付ける。 ・データ分析、データ解釈を通じながら問題発見、問題解決を探究できる力を身に付ける。 ・小論文とレポートを書く。 ・暗記中心の受動的な学習ではなく、能動的・主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。 		
受 講 の 留 意 点	遅刻や無断欠席をしないこと。ディスカッションに積極的に参加すること。課題を提出すること。できるだけ授業のあった日に復習を行ない、理解を深めること。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>受講者全員が確実にレベルアップできるように授業はゼミナール形式で行なう。学科を超えた人間関係を作るためにゼミナール編成は4学科混成とする。学生全員の学習過程を把握できるように、1ゼミナールの人数を10人程度とする。演習の進め方についてはクラス担当教員が明示する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション 		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 全体ガイダンス、担当教員の紹介、クラス分けなど 2 日本語の作文技術(1) 主語－述語の関係 3 日本語の作文技術(2) 句読点、語彙 4 日本語の作文技術(3) 修飾する側とされる側、比喻表現 5 文章読解(1) 大意要約 6 文章読解(2) 複眼的・多角的視点 7 小論文作成(1) 手順、文章の「型」 8 小論文作成(2) 表現の工夫、推敲と添削 		

	9	情報収集の方法(1)	文献・資料の探索
	10	情報収集の方法(2)	収集、整理
	11	情報の分析(1)	データ分析、データ解釈
	12	情報の分析(2)	資料や情報の批判的分析
	13	レポート作成(1)	引用の仕方、レファレンスの作成
	14	レポート作成(1)	論理的表現、探求的思考
	15	演習のまとめ	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	30分	資料を読んでおく。
	復習	30分	資料やノートしたことを読み返して理解を深める。
成績評価方法	授業への積極的態度（20点）、課題（80点）で評価する。		
教科書 （購入必須）	共通のテキストはないが、ゼミナール担当教員が必要に応じて指示したり、あるいは資料等を用意する。		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	専門基礎演習（栄養学科）			
科 目 名（英 語）		シラバスNo.	250000120	
担 当 教 員 名	栄養学科教員			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態 演習
開 講 時 期	通年	必修選択	必修	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p>1.人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p>2.幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p>3.医療の分野において、傷病者に対する療養のために必要な臨床栄養管理を行う力および食事療法の実践を行うために必要な力を身につけている。</p> <p>4.地域および職域における栄養改善の推進、栄養評価計画への参画等を通じて、地域住民の健康と生活の向上に貢献する力を身につけている。</p> <p>5.地域における生活を理解し、乳幼児、要介護者、単身高齢者等の個々に対する食事援助、栄養補給の開発等を行うために必要な力を身につけている。</p> <p>6.児童・生徒に対する「食」の指導はもとより、保護者を啓発し、「食」のあり方をともに考え、改善に寄与する力を身につけている。</p> <p>7.保健・医療・福祉の概念と、これらの職種間の連携・協働の意義を理解し、チームとしての業務に参画できる力を身につけている。</p>			
学 修 到 達 目 標	<p>管理栄養士資格取得に向けて学習意欲を高める。</p> <p>管理栄養士の仕事の概要を理解する。</p> <p>管理栄養士業務に必要な基礎的知識・技術を修得する。</p>			
受 講 の 留 意 点				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>栄養学科で学ぶ内容が管理栄養士の仕事にどのように結びつくかをイメージしながら、管理栄養士業務の基礎的な知識、技術、考え方を身につける。前半から中盤は、講義、演習を組み合わせた学習を進める。後半にはデータベースを利用するなどの文献の検索方法、エビデンスの評価法を学び、集めた文献を整理して、コピー＆ペーストなどの盗用をせず、自らの言葉で文章のルールに従ったレポートを作成する。演習やデータベース検索は、小グループに分かれ、学生相互の協力の下に進める。</p>			
	<p>アクティブ・ラーニングの内容 グループワーク、ディスカッション</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション：栄養学科専門基礎演習のねらい 2 専門基礎科目と管理栄養士の仕事とのつながり（1） 3 専門基礎科目と管理栄養士の仕事とのつながり（2） 4 管理栄養士の仕事（1）職域とおもな業務 5 管理栄養士の仕事（2）医療機関 6 管理栄養士の仕事（3）福祉施設 7 管理栄養士の仕事（4）受託給食会社 8 管理栄養士の仕事（5）学校給食 9 管理栄養士の仕事（6）食事計画の基礎① 10 管理栄養士の仕事（7）食事計画の基礎② 11 管理栄養士の仕事（8）他職種との連携 12 管理栄養士の知識（1）文献講読の準備 13 管理栄養士の知識（2）文献講読① 14 管理栄養士の知識（3）文献講読② 15 管理栄養士の知識（4）文献講読③ 			

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	20分	テキストや資料に目を通す。
	復習	25分	テキストや資料を用いて授業内容をまとめる。
成績評価方法	演習の取り組み状況 50%、レポート 50%		
教科書 (購入必須)			
参考書 (購入任意)			

科 目 名	専門基礎演習(看護学科)		
科 目 名 (英 語)	Specialized Basic Seminar(Nursing)	シラバスNo.	250000130
担 当 教 員 名	看護学科教員		
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位
開 講 時 期	通年	必修選択	必修
開 講 時 期		資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	看護職として実践経験のある教員が講義およびグループ活動を担当する科目		
対応する ディプロマ・ポリシー	<p>DP4 世界や地域社会の諸問題を学び、複眼的な視点で保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、地域住民及び関係機関の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。</p> <p>DP5 知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち継続的に自己研鑽する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間・社会・健康・看護に関連した身近な課題を発見し、解決に必要な情報を適切に収集・分析・整理することができる。 2. 人間・社会・健康・看護に関連した身近な課題を探究するプロセスを通して、看護学に対する興味関心について述べることができる。 3. 少人数グループの一員としての意識を持ち、目標実現のために他者と協調・協働して、主体的に活動できる。 4. 看護学を探究するうえでの事故の課題について省察し、述べることができる。 		
受 講 の 留 意 点	少人数ゼミナール形式の演習科目である。一人ひとりの主体的な学習への参画を期待する。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>少人数グループにより、人間・社会・健康・看護に関連した身近な課題について、課題発見、情報収集、文献講読、ディスカッション、レポート作成、プレゼンテーションに取り組む。</p> <p>看護学を学ぶ基盤となる基本的能力を涵養するとともに、看護学の探究を志す自己のあり方を省察する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 ゼミナール形式での演習である。</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 全体ガイダンス・グループ別演習ガイダンス 2 グループ別演習① 3 全体講義① 4 グループ別演習② 5 全体講義② 6 グループ別演習③ 7 全体講義③ 8 グループ別演習④ 9 グループ別演習⑤ 10 グループ別演習⑥ 11 グループ別演習⑦ 12 グループ別演習⑧ 13 グループ別演習⑨ 14 全体報告会 15 グループ別演習⑩ ふりかえりとまとめ 		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	分	各担当教員が指示する。
	復習	分	各担当教員が指示する。

成績評価方法	評価表に基づき、評価する。評価項目については、ガイダンスで説明する。
教科書 (購入必須)	テキストは使用しない。
参考書 (購入任意)	各担当教員が指示する。

科 目 名	専門基礎演習（社会福祉学科）			
科 目 名（英 語）		シラバスNo.	250000140	
担 当 教 員 名	社会福祉学科教員			
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	
開 講 時 期	通年	必修選択	必修	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー				
学 修 到 達 目 標	社会福祉学科における専門基礎演習のねらい（目的）は、第1に、学問としての社会福祉学の概説を学び、その体系全般を理解すること。第2に、実践としての社会福祉の現場を理解するとともに、その歴史や現代的事象について学ぶこと。第3に、学生の個々の能力や興味・関心に応じて社会福祉に対する理解を深めることである。			
受 講 の 留 意 点	第12回の実習報告会（精神保健福祉士）は土曜日の実施になる場合がある。また、第15回の実習報告会（社会福祉士）は、後期試験期間終了後のオンデマンド実施になる場合がある。そのほか、担当の各教員より別途指示する。			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>専門基礎演習のねらいは、社会福祉（学）の概要について理論や実践、歴史などの視点から学び、学生一人ひとりの社会福祉（学）に対する理解や興味・関心を深めてゆくことです。こうしたねらいをもって、今年度の専門基礎演習は、①全体講義を通して社会福祉や関連領域の実践、他職種連携や地域社会との関わりなどについて学び、また、知的理解を深めレポートなどとしてまとめてゆくための方法について学びます。そして、②各グループでの学習を通して、学生一人ひとりの社会福祉に対する理解や興味・関心を深めてゆきます。ここでは、文献講読や調査学習、見学や交流など、グループ毎に多様な学習方法が展開されます。また、③3年生の実習報告会（社会福祉士）（2026年2月を予定）、4年生の実習報告会（精神保健福祉士）（2025年11月を予定）に参加し、福祉の現場が多様であることを知るとともに、実習に向けた学びのステップとします。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 各グループでの学習は、文献講読や見学、ディスカッションなど、グループ毎に多様な方法で展開します。</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、講義：教職（高校福祉）、特別支援教育 2 講義：社会福祉総論、精神保健福祉 3 ゼミナール 4 ゼミナール 5 ゼミナール 6 ゼミナール 7 講義：アカデミック・ライティング、文献の探し方 8 ゼミナール 9 講義：ソーシャルワーク実習について 10 講義：社会福祉各論（歴史、高齢者福祉、障害者福祉、医療福祉のうち2つ） 11 ゼミナール 12 実習報告会（精神保健福祉士） 13 ゼミナール 14 ゼミナール 15 実習報告会（社会福祉士） 			

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	分	担当の各教員の指示による
	復習	分	担当の各教員の指示による
成績評価方法	受講態度（ゼミナールでの積極的な関わりが見られるかなど）60点、レポート課題40点で評価する。		
教科書 （購入必須）			
参考書 （購入任意）			

科 目 名	専門基礎演習（社会保育学科）					
科 目 名（英 語）		シラバスNo.	250000150			
担 当 教 員 名	社会保育学科教員					
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位		開 講 形 態	演習
開 講 時 期	通年	必修選択	必修		資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容						
対 応 す る ディプロマ・ポリシー						
学 修 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや保育にかかわるテーマの検討を通して、大学で学ぶための基礎的なリテラシーやコミュニケーション能力を身につける。 ・レポーターとなり、テーマに即したレジメを作成することができる。 ・幅広い視野から保育の課題を捉え、主体的に学ぶ姿勢を身につける。 					
受 講 の 留 意 点	担当の各教員により別途指示する。					
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>子育てや保育に関わるテーマについて、少人数での演習（文献の講読、レポートの作成、ディスカッション）を行う。その他、ゲストスピーカーによる講演への参加および保育関連施設へのフィールドワークを予定している。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 レポートのプレゼンテーション、グループ・ディスカッション、フィールドワーク</p>					
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 全体ガイダンス：専門基礎演習のねらい、クラス分け 2 各クラスにおけるオリエンテーション 3 子育て・保育にかかわる文献購読（1）：保育とは何か 4 子育て・保育にかかわる文献購読（2）：子どもにかかわる専門職① 5 子育て・保育にかかわる文献購読（3）：子どもにかかわる専門職② 6 子育て・保育にかかわる文献購読（4）：保育の現代的課題 7 フィールドワーク（1）：保育関連施設でのフィールドワーク 8 フィールドワーク（2）：振り返り 9 ゲストスピーカーによる講演 10 レポート作成（1）：レポート作成の基本 11 レポート作成（2）：テーマの設定 12 レポート作成（3）：レポートの構成 13 レポート作成（4）：本論の作成とレファレンス 14 発表とディスカッション 15 まとめ 					
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	30分	テキストのとくに次回に関わる部分や関連文献を読み、概要を把握し疑問点を整理しておく。			
	復習	15分	テキストや資料を読み返し、次に取り組む課題を整理しておく。			

成績評価方法	授業態度及びレポート提出により評価する。
教科書 (購入必須)	保育雑誌『ちいさいなかま』（ちいさいなかま社）を毎月購読する。
参考書 (購入任意)	

科 目 名	情報処理 I				
科 目 名 (英 語)	Information Processing I	シラバスNo.	250000160		
担 当 教 員 名	石川 貴彦				
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	前期	必修選択	必修	資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>				
学 修 到 達 目 標	ICT（情報通信技術）に関する基礎・基本を理解し、ワープロソフトを用いた文書の作成や、表計算ソフトを用いたデータの集計といった、日常生活および専門科目に適用できる程度の情報処理能力を習得することができる。				
受 講 の 留 意 点					
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>1人1台パソコンを操作し、ICTの基礎・基本（Windowsの操作、プリンタ等周辺機器の使用方法）、文書の作成（電子メール、Wordを利用した文書作成の方法）、情報の整理（Excelによるデータ処理、グラフ描画）の方法・技術について学習する。毎回の授業は3つのパートで構成し、各パートの導入で教員が説明を行い、説明後は学生が能動的に学習する。</p>				
	<p>アクティブ・ラーニングの内容 教員の説明は1回につき10分以内に留め、受講者が主体的に作業できる時間を確保する。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、パスワードの管理、大学PC・メール・教務システムの使用方法 2 Windowsの基本操作、Wordの入力練習、添付ファイルのメール送信 3 文書の作成・印刷と編集機能 4 表の作成と編集、画像、テキストボックスの挿入 5 ワードアートの挿入、図形描画 6 スマートアート、段組み、ドロップキャップ、ページ罫線 7 はがき作成、差し込み印刷 8 Excelの入力・計算方法 9 ワークシートの活用（1）（SUM、AVERAGE関数）、罫線の引き方 10 ワークシートの活用（2）（MAX、MIN、COUNT、COUNTA、IF関数） 11 グラフの作成（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、3Dグラフ、複合グラフ） 12 データベース、データの抽出、ピボットテーブル 13 Excelの応用（RANK、VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX、COUNTIF関数） 14 シート間の計算、ExcelのWordへの埋め込み 15 演習のまとめ 				

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	20分	OSとクラウドの使い分けに慣れつつ、各回に対応する教科書の章を読むこと。
	復習	25分	演習で実施した練習や課題を振り返り、コンピュータ操作の習熟を図ること。
成績評価方法	Word 演習 5 課題 (45%)、Excel 演習 7 課題 (55%)		
教科書 (購入必須)	30 時間でマスター Word2021、実教出版、2022 年 30 時間でマスター Excel2021、実教出版、2022 年		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	情報処理Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	Information Processing Ⅱ	シラバスNo.	250000170		
担 当 教 員 名	石川 貴彦				
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	演習
開 講 時 期	後期	必修選択	社会保育：必修 栄養・看護・社会福祉：選択	資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>				
学 修 到 達 目 標	情報コミュニケーションおよびネットワークに関する基礎・基本を理解し、プレゼンテーション資料の作成、Web ページの制作による情報配信といった、日常生活および専門科目に適用できる程度の情報発信能力を習得することができる。				
受 講 の 留 意 点	情報処理Ⅰの単位を修得していることが望ましい。				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>学生それぞれが情報発信能力を高めるために1人1台パソコンを操作し、情報の表現・伝達（PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成）、情報の発信（HTML、CSS による Web ページの作成・配信）について学習する。また、著作権や情報モラル等の基本的事項についても Web ページ作成のなかで合わせて学習する。毎回の授業は3つのパートで構成し、各パートの導入で教員が説明を行い、説明後は学生が能動的に学習する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 教員の説明は1回につき10分以内に留め、受講者が主体的に作業できる時間を確保する。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、PowerPoint と Web デザインの基本操作 2 プレゼンテーション資料の作成 3 プレゼンテーション資料のブラッシュアップ、図形の挿入 4 グラフの挿入、アニメーションの設定、リハーサルにおける操作 5 プレゼンテーションストーリーシートの作成 6 ストーリーシートに基づくスライド資料の作成 7 HTML の基本要素、画像の表示 8 ハイパーリンク、スタイルシート（CSS） 9 ボックスモデル 10 Web サイト、ページデザイン 11 JavaScript、フレームレイアウト 12 著作権、肖像権、パブリシティ権の遵守と Web 配信、自作 Web ページの作成（1） 13 情報モラル、ネット情報の信頼性、自作 Web ページの作成（2） 14 自作 Web ページの作成（3） 15 演習のまとめ 				

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	20分	OSとクラウドの使い分けに慣れつつ、各回に対応する教科書の章を読むこと。
	復習	25分	演習で実施した練習や課題を振り返り、コンピュータ操作の習熟を図ること。
成績評価方法	PowerPoint 演習 4 課題 (40%)、Web デザイン演習 6 課題 (60%)		
教科書 (購入必須)	30 時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2021、実教出版、2022 年 30 時間でマスター Web デザイン改訂版、実教出版、2019 年		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	統計学			
科 目 名 (英 語)	Statistics	シラバスNo.	250000180	
担 当 教 員 名	荻野 大助			
学 年 配 当	3年	単 位 数	2単位	開 講 形 態
開 講 時 期	前期	必修選択	看護：必修 栄養・社会福祉・社会 保育：選択	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 2 科学的根拠に基づいた看護の実践的判断ができる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 2 人間一人ひとりの生活や健康問題、公共政策的な課題について社会的視点を持って科学的に捉え、具体的な支援をするために保健、医療、教育などの関連分野と連携・協働できる力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>			
学 修 到 達 目 標	統計処理用プログラムソフト MS Excel および統計解析ソフトウェアを使用して、基礎的な統計処理ができるようになること。			
受 講 の 留 意 点	教科書、(関数)電卓、講義で配布した資料は、授業の際にすべて持参すること。 授業の後は、必ず十分に復習すること。 試験の時は、携帯電話・スマートフォン・タブレット・電子辞書を使用禁止とする。			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	保健福祉学部で学ぶ学生は、健康・保健・医療・福祉に関するデータや資料を正しく理解し、適切に取り扱う知識と技術を身につけることが必要である。統計学は、統計学の基礎とデータ処理の実際について学ぶ授業科目である。本授業科目では、データについて正しく分類し、統計解析ソフト (MS Excel や JMP) を用いて、t 検定、 χ^2 検定を行ったり、回帰・相関を調べたりする。さらに、質問紙調査の作成方法を学び、データ処理後の解釈ができるようになる。			
授 業 の 計 画	<p>アクティブ・ラーニングの内容 問題解決学習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 データの整理～視覚的表示の利用～ 2 統計量について 3 統計学的推測の基礎 (1) 標本抽出、調査 4 統計学的推測の基礎 (2) 分布の型、仮説検定 5 平均値に関する推測 (1) 比率の差の検定 6 平均値に関する推測 (2) 平均値の差の検定 7 相関係数と回帰直線に関する推測 (1) 相関係数 8 相関係数と回帰直線に関する推測 (2) 回帰直線 9 頻度に関する推測 (1) 2×2分割表、クロス表 10 頻度に関する推測 (2) 残差分析、異常値の判定 11 分散分析、多重比較 (1) 分散分析 12 分散分析、多重比較 (2) 多重比較、ノンパラメトリック 13 多変量解析 14 生存時間に関する推測 15 質問紙作成とデータ解析 			

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	関連する章について教科書に目を通す
	復習	90分	講義内で出てきた分析を自分自身でできるようにしておく
成績評価方法	期末試験（100点満点）で評価する。		
教科書 （購入必須）	『やさしい保健統計学 改訂第5版増補』南江堂（縣俊彦著）ISBN: 978-4-524-24124-8 授業に必要なプリントはその都度配布する。		
参考書 （購入任意）	疫学受講時（2年生）に購入した（疫学を選択していない受講生は必要ない） 日本疫学会（監修）『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』南江堂		

科 目 名	スポーツ理論			
科 目 名 (英 語)	sports theory	シラバスNo.	250000190	
担 当 教 員 名	清水 幸子			
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位	開 講 形 態 講義
開 講 時 期	前期	必修選択	社会保育：必修 栄養・看護・社会福祉：選択	資 格 要 件 教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p><看護学科> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている</p>			
学 修 到 達 目 標	<p>自らのライフスタイルに合った運動習慣を身につけ、継続的に実施することができるようになることである。</p> <p>知識と技能：習得した知識を理解し、自らの人間性と能力を高めることができる。</p> <p>課題解決力：テーマに応じて、自らが課題を発見し、その課題解決に向け主体的に取り組むことができる。</p> <p>論理的思考力：健康に関する様々な問題について情報を収集・分析し、関連する諸領域を幅広く理解することができる。</p>			
受 講 の 留 意 点	スポーツ、運動、健康に関連するニュース報道、新聞などを媒体としながら情報を収集しておくことが学習成果を上げることになるため情報収集のための予習時間が必要不可欠なものとなる。			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>生涯にわたり健全で豊かな生活を送るために必要な要素について学習することをねらいとする。自己の体力や健康について振り返りながら課題を発見し、心身ともに健康で豊かな生活を送るための理解を深める。</p> <p>また、今後のからだの変化や生活習慣病の予防、行政の取組、身体活動量の現状と目標について学ぶ。</p> <p>授業は主に講義形式で行なう。</p> <p>また、テーマや課題によってはグループによる話し合いや ICT を活用し、WEB 上のコンテンツから課題を見つけ理解を深める。</p> <p>随時アプリケーションを使用する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 各回において体験的な学習を取り入れ、適時グループ・ディスカッションを行う。</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：本講義のねらい 2 健康と体力①（健康問題と政策） 3 健康と体力②（健康に関連した体カトレーニング） 4 健康と運動①（身体の構造・機能と運動） 5 健康と運動②（身体の発育発達と運動） 6 健康と運動③（身体に加齢変化と運動） 7 健康と運動④（生活習慣病予防と運動） 8 中間まとめ（日頃の体調について、歩数の振り返り） 			

	9 健康と運動⑤（運動習慣について）
	10 健康生活の実現に向けて①（健康と栄養）
	11 健康生活の実現に向けて②（健康と休養）
	12 スポーツの歴史
	13 将来に向けた準備①（健康年齢の測定）
	14 将来に向けた準備②（職業病）
	15 授業の整理とまとめ（質疑応答）
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 90分 1週間の身体活動量についてまとめておく。また次回の内容に応じて教科書から関連する情報を収集しておく。
	復習 90分 講義にて出された課題や運動実践に取り組む。
成績評価方法	提出物 70%、定期試験（レポート） 30% 知識と技能：活動内容について深く理解し、事前事後課題を行なえているかを提出物で評価する。 課題解決力：テーマに対して、説明することができ、自らの知識、経験を省察することができているかを提出物で評価する。 論理的思考力：健康に関する様々な問題について情報を収集・分析し、関連する諸領域を幅広く理解することができるかを提出物及び定期試験で評価する。
教科書 （購入必須）	関朋昭編『体育・スポーツ・健康概論』ナカニシヤ出版
参考書 （購入任意）	田口貞善『健康・運動の科学 -介護と生活習慣病予防のための運動処方』講談社

科 目 名	スポーツ実技 I				
科 目 名 (英 語)	practical sports skills (I)	シラバスNo.	250000200		
担 当 教 員 名	清水幸子				
学 年 配 当	1 年	単 位 数	1 単 位	開 講 形 態	実技
開 講 時 期	前期：看護・社会保育 後期：栄養・社会福祉	必修選択	選択	資 格 要 件	教職：選択必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p><看護学科> 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている</p>				
学 修 到 達 目 標	<p>この授業での目標は、スポーツの知識や技術向上だけでなく、他者とのコミュニケーションを円滑に図ることができ、在学中のみならず、卒業後も継続してスポーツを楽しみながら、自らの人間性と能力を高めることができるようになることである。</p> <p>基本的なリテラシー：活動内容について理解し、実施する種目に応じて説明することができる。 人間性と能力：技術や戦術について他者と相談することや、コミュニケーションを取りながら問題を解決することができる。 教養：スポーツを行なう楽しさや技能を身につけることで、多面的な理解を深め、関心を広げることができる。</p>				
受 講 の 留 意 点	<p>服装は運動に適したもので気候にあったものを準備すること。ジャージ、トレーナー、Tシャツ、ショートパンツ等で、体育館シューズを必ず使用すること。 日頃から健康管理やスポーツに関わるメディア情報や関連書籍などに関心をもち、予備知識を得ておくこと。</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>スポーツ実践を通して、体力の向上や健康の増進を図ることをねらいとする。 スポーツを通してそれぞれの種目特性を探り、技術レベルを高める。 またゲームに必要な戦術、ルールなどの理解を深めながら、ゲーム本来の楽しさやグループで行なう楽しさを体験する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 技術や戦術についてグループ・ディスカッションを行う。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 履修ガイダンス：受講上の諸注意など ラケットスポーツ実践①（バドミントン）ドライブとハイクリアの練習 ラケットスポーツ実践②（バドミントン）ドロップとヘアピンの練習 ラケットスポーツ実践③（バドミントン）スマッシュ練習／簡易ゲーム ラケットスポーツ実践④（バドミントン）コンビネーション練習／簡易ゲーム ラケットスポーツ実践⑤（バドミントン）ゲーム 課題学習（前半の振り返りと今後の取り組み） 集団スポーツ①（バレーボール）サーブ練習／ミニゲーム 集団スポーツ②（バレーボール）パス練習／ミニゲーム 集団スポーツ③（バレーボール）ゲーム 				

	11 集団スポーツ④ (バレーボール) ゲームリーグ戦
	12 集団スポーツ⑤ (バスケットボール) シュート練習/ミニゲーム
	13 集団スポーツ⑥ (バスケットボール) ドリブル、パス練習/ミニゲーム
	14 集団スポーツ⑦ (バスケットボール) ゲーム
	15 集団スポーツ⑧ (バスケットボール) ゲームリーグ戦 / 課題学習 (まとめ)
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 15分 種目について関連する動画を視聴し、動きのイメージを膨らませる。
	復習 30分 身体のメンテナンスを積極的に行なう。
成績評価方法	<p>受講態度 30%、技能 30%、小レポート 20%、定期試験 (レポート) 20%</p> <p>基本的なリテラシー：活動内容について理解し、実施する種目に応じて説明することができるか、技能と定期試験にて評価する。</p> <p>人間性と能力：技術や戦術について他者と相談することや、コミュニケーションを取りながら問題を解決することができるか、受講態度で評価する。</p> <p>教養：スポーツの特性への理解や関心について、小レポートにて評価する。</p> <p>評価項目については、初回授業時にループリック (評価基準表) により示す。</p>
教科書 (購入必須)	<p>テキストは使用しない。</p> <p>活動シート (オリジナル教材) を授業時に配布する。</p>
参考書 (購入任意)	大修館書店編集部『観るまえに読む 大修館 スポーツルール 2024』大修館書店

科 目 名	スポーツ実技Ⅱ				
科 目 名 (英 語)	practical sports skills (Ⅱ)			シラバスNo.	250000210
担 当 教 員 名	清水 幸子・荻野 大助・今野 聖士・傳馬 淳一郎・敦賀 信人				
学 年 配 当	1年	単 位 数	1単位	開 講 形 態	実技
開 講 時 期	後期	必 修 選 択	選択	資 格 要 件	教職：選択必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p><看護学科> 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>				
学 修 到 達 目 標	<p>この授業での目標は、スポーツの知識や技術向上だけではなく、他者とのコミュニケーションを円滑に図ることができ、在学中のみならず、卒業後も継続してスポーツを楽しむことで、生涯スポーツの一つにつなげることである。</p> <p>基本的なリテラシー：活動内容について理解し、実施する種目に応じて説明することができる。 人間性と能力：技術や戦術について他者と相談することや、コミュニケーションを取りながら問題を解決することができる。 地域の自然：地域の特性を生かしたスポーツを体験することで、地域に対する関心や地域から学ぶ姿勢を体得することができる。</p>				
受 講 の 留 意 点	<p>【共通】 3日間の集中講義で実施する（施設の状況から冬季休業期間中など土曜日と日曜日の実施となる） ※受講希望者が多い場合、抽選とし人数制限をする場合がある。 ※実施日以外に事前ガイダンスを校内で実施する。 ※各選択スポーツ別にレポート課題がある。</p> <p>【スキー履修者】 ○名寄ピヤシリスキー場のリフト券および昼食代は個人負担とする。（3日間で3000円程度） ○スキー板、ブーツ、ストックはレンタル可能（3日間で2000円） ○ウェア、帽子、手袋、ゴーグルはレンタル可能（別途連絡）</p> <p>【カーリング履修者】 ○カーリング用具はレンタル可能（3日間で500円）</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>名寄市の地域資源を活用し、ウィンタースポーツを通してそれぞれの種目特性を探り、技術レベルを高める。 またそのスポーツに必要な戦術、ルールなどの理解を深めながら、スポーツ本来の楽しさやグループで行なう楽しさを体験する。 なおスキーおよびカーリングは選択制とし、どちらか一方のみ履修可能とする。</p> <p>スキーにおいては安全面への配慮から、経験やレベルに応じてクラス分けを行い実施する。 （初心者から上級者まで履修可能）</p>				
授 業 の 計 画	スキー			カーリング	
	1 履修ガイダンス：受講上の諸注意など			ルール・ポジションの役割	

	2	雪や氷について①（スポーツと自然）	氷の状態・カーリングの歴史
	3	雪や氷について②（スポーツの特性）	用具などの説明
	4	スキー実技 班分け、自然環境とスキー用具に慣れる	カーリング技術の基礎（氷に慣れる）
	5	スキー実技 上・中級レベル：大回りターンで長い距離をゆっくりと滑る / 初級レベル：ブルークスタンスと滑走スピードをコントロール	カーリング技術の基礎（リリース・フォームなど）
	6	スキー実技 上・中級レベル：大回りターンでターンのコントロール / 初級レベル：ブルークボーゲンで方向を変える	カーリング技術の基礎・メンタルトレーニング（スウィーピング）
	7	スキー実技 上・中級レベル：大回りターンで中・緩斜面をスピード豊かに / 初級レベル：ブルークボーゲンを楽しむ	カーリング技術の基礎（作戦）
	8	スキー実技 上・中級レベル：整地された様々な斜面を大回りターンで滑る / 初級レベル：長い距離を滑る	ゲームの進め方とその実際（先攻・後攻の有利・不利）
	9	スキー実技 上・中級レベル：グループ課題に取り組む / 初級レベル：ブルークボーゲンからブルークターンへ	ゲームの進め方とその実際（氷の状態に合った作戦）
	10	スキー実技 上・中級レベル：グループ課題の発表 / 初級レベル：ブルークボーゲンで整地された斜面にチャレンジする	ゲームの進め方とその実際（チームに必要なこと・チーム作り）
	11	スキー実技 上・中級レベル：スキー交流（共育） / 初級レベル：長い距離をゆっくりと滑る（トレーン）	ゲームの進め方とその実際（勝っている時、負けている時の作戦）
	12	スキー実技 上・中級レベル：不整地を含む様々な斜面を滑る / 初級レベル：ブルークで、長い距離を滑る	より高度な戦略作りと実戦・実戦からチームスポーツの長所、短所 様々なことを学ぶ（レベルに合ったショット・作戦）
	13	スキー実技 上・中級レベル：大回り・小回りターンを楽しむ / 初級レベル：リズムを楽しむ	より高度な戦略作りと実戦・実戦からチームスポーツの長所、短所 様々なことを学ぶ（カーリングに必要なもの）
	14	スキー実技 上・中級レベル：スキー交流（共育）と初級者への指導法 / 初級レベル：スキー交流（共育）を楽しむ	より高度な戦略作りと実戦・実戦からチームスポーツの長所、短所 様々なことを学ぶ（総合）
	15	スキー実技 スキー交流（共育）斜面変化や自然環境の変化を楽しみながら長距離を移動、様々な状況に挑戦	技術と戦略作りのまとめ
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	15分	（スキー）スキーに関連する動画を視聴し、滑りのイメージを膨らませる。（カーリング）カーリングに関連する動画を視聴し、ルールや戦略について理解を深める。
	復習	30分	（共通）身体のメンテナンスを積極的に行なう。
成績評価方法	<p>【成績評価の方法・基準】</p> <p>雪上課題／氷上課題（受講態度、技能）70%、課題レポート（事前ガイダンス及び準備を含む）30%</p> <p>基本的なリテラシー：活動内容について理解し、実施する種目に応じて説明することができるか、雪上課題／氷上課題にて評価する。</p> <p>人間性と能力：技術や戦術について他者と相談することや、コミュニケーションを取りながら問題を解決することができるか、雪上課題／氷上課題で評価する。</p> <p>地域の自然：スポーツの特性への理解や関心について、課題レポート（ガイダンス及び準備を含む）にて評価する。</p>		

教科書 (購入必須)	テキストは使用しない。
参考書 (購入任意)	スキー履修者：公益財団法人全日本スキー連盟『日本スキー教程』芸文社 清水幸子訳『100%スキー』サウザンブックス 『Stuben Magazine Vol.1-Vol.7』ウパシプロダクション

科 目 名	教育学		
科 目 名 (英 語)	Education	シラバスNo.	250000220
担 当 教 員 名	小西 二郎		
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
開 講 形 態	講義	資 格 要 件	教職 (高公・高福) : 選択
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。 5 知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち継続的に自己研鑽する力を身につけている。 6 異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 2 人間一人ひとりの生活や健康問題、公共政策的な課題について社会的視点を持って科学的に捉え、具体的な支援をするために保健、医療、教育などの関連分野と連携・協働できる力を身につけている。 3 個々の地域を重視しつつ、人類がかかえる諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係わる生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 		
学 修 到 達 目 標	受講生の皆さんが学校教育を日本社会の変容との関わりでとらえる視点を獲得し、その視点から教育について考察を深めるようになることです。		
受 講 の 留 意 点	<p>○新聞を読み、テレビ等のニュースをみることをお忘れなく</p> <p>○毎回、ミニレポートを書いて頂きます。講義の中で取り上げることがあります</p>		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマ：〈子ども・青年のライフコース変容と学校〉の視点から考える教育の意義 消費社会化・情報社会化によって消費文化世界が1970年代後半以降、子ども・青年の生活の中で大きな位置を占めるようになりました。1990年代後半以降はそれに加えて、企業の変容(ダウンサイジングと二極化等)と学校教育の二極化の進行も加わり、子ども・青年のライフコースは不安定化してきました。こうした一連の変化にともなって学校の社会的位置・役割が変化し、その正統性・権威・目的が、それまでに比べると大きく揺らいでいます。 本科目では以上のような歴史的変化を取り押さえた上で、学校教育の現局面について考察することを通して教育の今日的意義について考えます。 2 <社会と教育>について考えることとなります (1) 本科目は教養教育科目であり、同時に教職課程科目です。そのため「教育原理」や「教育法概論」、「教職概論」等と関連しながらも、それらとあまり重ならない授業内容にする必要があります。以上より、本科目では<社会と教育>について考えます (2) 保健福祉学部の「教育学」なので、学校教育と社会保障との関係にも触れます 3 授業の形式 応答的な授業を心がけます。例えば、毎回、授業の冒頭、前回のミニレポートに対する応答を口頭であるいはリアクション・ペーパーも用いて行ないます 		

	アクティブ・ラーニングの内容 ○ミニレポートに対する応答（口頭あるいはリアクション・ペーパー）		
授 業 の 計 画	1 序章 本科目の位置づけとねらい 2 第Ⅰ部 消費社会化・情報社会化による子ども・青年のライフコース変容と学校（1970年代後半～） 第1章 1970年代後半以降の子ども・青年の成長パターンの変化（その1） 子ども・青年の成長・生活環境の構成的変化と成長パターンの変化 3 第1章 1970年代後半以降の子ども・青年の成長パターンの変化（その2） 消費文化世界が子ども・青年の成長・生活環境の主要な軸に 4 第1章 1970年代後半以降の子ども・青年の成長パターンの変化（その3） 消費文化世界は他の成長・生活環境に越境・浸透する 5 第1章 1970年代後半以降の子ども・青年の成長パターンの変化（その4） 子どもも消費者として“<主体形成>しちゃった” 6 第2章 家族（及び地域）、学校の正統性・権威・目的の揺らぎ（その1） 家族（及び地域）の影響力の低下 7 第2章 家族（及び地域）、学校の正統性・権威・目的の揺らぎ（その2） 学校の影響力の低下 8 第3章 企業社会と学校の正統性・権威・目的（その1） 家族（及び地域）、学校の社会的位置の変化とその影響 9 第3章 企業社会と学校の正統性・権威・目的（その2） 「大人になること」と企業社会 10 第3章 企業社会と学校の正統性・権威・目的（その3） 新規学卒雇用慣行と学校の正統性・権威・目的 11 第Ⅱ部 日本社会の大転換にともなう子ども・青年のライフコース変容と学校（1990年代後半～） 第1章 グローバリゼーション・新自由主義的改革下での企業社会の変容 12 第2章 学校教育の変化 13 第3章 青年雇用の変化 14 第4章 子ども・青年のライフコースの不安定化と学校教育 15 まとめ		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	90分	プリントを読んでおく
	復習	90分	プリントやノートしたことを読み返して理解を深める。関心と必要に応じて参考文献にあたる
成 績 評 価 方 法	毎回書いて頂くミニレポートと試験の結果をもとに評価します（ミニレポート21点、試験79点、計100点）。		
教 科 書 (購 入 必 須)	使用しません。プリントを配付します。		
参 考 書 (購 入 任 意)	主な参考文献は以下の通りです。講義の中で適宜、他の文献も紹介します。 ○乾 彰夫(2001)『<学校から仕事へ>の変容と若者たち』青木書店。 ○中西新太郎(2001)『思春期の危機を生きる子どもたち』はるか書房。 ○中西新太郎(2004)『若者たちに何が起こっているのか』花伝社。 ○後藤道夫編(2004)『日本の時代史 28 岐路に立つ日本』吉川弘文館。 ○荒川章二(2009)『全集 日本の歴史 16 豊かさへの渴望』小学館。		

科 目 名	哲学		
科 目 名 (英 語)	Philosophy	シラバスNo.	250000230
担 当 教 員 名	古牧 徳生		
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
		資 格 要 件	教職(高公):必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<p>まずは周囲を観察してみよう。移ろいゆく自然の中に何か分からないが変わらないものがあることを君も直感するだろう。それは何だろうか。考えてみよう。古代ギリシアから始まる人々の思索を辿ってゆこう。自然の探求がいつしか自然を超えたものの探求になっていくことに君は気づく。しかし自然を超えたものは探求不可能なことに人々が気づいていく過程に君はうなずくだろう。そこで昔の人がいかにして不変なものを突き止めようとしたか、君は知りたくなる。そうして授業を聞いていくうちに君は、哲学とはすべての学問の根幹であり、すべての学問は哲学の一部だったことを知るだろう。かくして哲学の歩んだ道を知った君は、ひいては学問のあるべき姿を知るようになるだろう。つまりどんな学問も、豊富なデータを土台に論理的思考を重ねていかねばならないのだ。それを知るまでに先人たちが歩んだ苦勞の末に君がいることに気づくとき、君は自分の学びが2500年に及ぶ西洋哲学の歴史に続いていることを自覚するだろう。</p>		
受 講 の 留 意 点	<p>事前にパワーポイントの資料を配布するから、目を通しておくこと。授業についての質問はメールで受け付ける。</p>		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>いかなる学問も確実な認識ができなければ成立しない。ではその確実な認識はいかにすれば可能なのか。いや、その前に確実な認識は可能なのだろうか。古代ギリシア以来、人類を悩まし続けてきた難問とそれへの先人たちの苦闘を見ていくことで、人間の能力には絶望的困難があることを理解しよう。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 自然哲学からソクラテスまで 2 プラトン 3 アリストテレス 4 懐疑主義と神秘主義 5 アウグスチヌス 6 初期中世哲学 7 スコラ哲学 8 神学の失墜 9 ルネサンス期の思想 10 デカルトの哲学 11 大陸の合理説 		

	12 イギリスの経験論		
	13 カント		
	14 ドイツ観念論		
	15 19世紀後半		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	前日の夕方に配布する資料を読むこと。大筋を知っておくだけでよい。
	復習	90分	資料をもう一度、読んでみよう。意外と当たり前のことを昔の人は言っていたことが理解できるだろう。
成績評価方法	期末試験（100点満点）で評価する。		
教科書 （購入必須）	なし		
参考書 （購入任意）	『君ならわかる哲学』 春秋社		

科 目 名	心理学			
科 目 名 (英 語)	Psychology	シラバスNo.	250000240	
担 当 教 員 名	糸田 尚史			
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位	開 講 形 態 講義
開 講 時 期	前期	必修選択	社会福祉：必修 栄・看・保：選択	資 格 要 件 教職(高公)・社福士・精保士：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	心理臨床の現場（児童相談所・知的障害者更生相談所・身体障害者更生相談所・児童家庭支援センター）において心理職（判定員・福祉専門員・心理士）として勤務した経験を有し、現在も児童相談所で児童心理司研修の講師も務めている実務家出身教員が、人間（動物）の心と行動に関する科学的な理解と支援の方法について指導する科目			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>			
学 修 到 達 目 標	①人間の心の基本的なしくみとはたらき、環境との相互作用によって生じる心理と行動について理解し、臨床や実践に応用できる。②人間の発達段階に応じた心理的課題について知り、臨床や実践が行える。③日常生活と心の健康との関係性について理解し、臨床や実践に活かすことができる。④心理学的なものの見方や考え方に基づいたアセスメントなどの諸方法について知り、対象者を支援することができる。			
受 講 の 留 意 点	保健医療福祉分野の対人援助職者に必要な素養の一つであり、積極的な受講を期待する。スライドを用いた心理学実験も時々行うので楽しみながらもアクティブに、実践的に学修していただきたい。配布資料は順番に綴り、遺漏なく管理し、期末レポートの作成にも活用すること。			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	人間（動物）の心と行動を客観的・科学的に探究する学問としての「心理学」について、日常生活にひそむ心理学的な現象を実際に体験していただきながら進める。また、多数の写真・イラスト・マンガなどのビジュアル・プラクティスも活用し、人間の認知と行動、子どもから大人までの生涯発達、心理的支援などについて考えていく。			
授 業 の 計 画	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <p>脳に良い意味でのハッキングをかけたり、心理系の映画や映像などを視聴したりしたあとに、その体験を他者と語り合う時間を多く取り、主体的・対話的に深く学べるような機会を頻繁に設ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習心理学を学ぶ：学習理論、アクティブラーニング、刺激・反応（反射）、古典的（レスポナント）条件づけ、強化、消去、自発的回復、般化、弁別（分化）、実験神経症、生物学的制約、オペラント（道具的）条件づけ、問題箱、試行錯誤学習、動因低減説、潜在学習、洞察学習、アハ！体験、認知バイアス、間歇強化、行動形成、社会的認知（社会的学習）理論、模倣、正統的周辺参加、認知的徒弟制、発達の最近接領域、履修上の注意事項、成績評価の方法 2 認知心理学（感覚・知覚）を学ぶ（1）：脳、神経システム、感覚遮断（SD）、順応、闘（いき）、サブリミナル効果、プライミング効果、ニュー・ルック心理学、文脈効果、知覚的構え、選択的注意、非注意による見落とし、盲点の実験、目、視覚 3 認知心理学（感覚・知覚）を学ぶ（2）：色彩視、色覚多様性、図と地、ルビンの盃、多義図形（曖昧図形）、ゲシュタルト知覚、両眼視差、立体視、奥行知覚、エイムズの部屋 4 認知心理学（感覚・知覚）を学ぶ（3）：錯視、錯覚、ミュラー＝リヤー錯視、サッチャー（トンブソン）錯視、シェパード錯視、カフエウォール錯視、恒常性、共感覚（異感性間協応）、擬態 			

	<p>5 認知心理学（感覚・知覚）を学ぶ(4)：耳、聴覚、聴覚情報処理障害（APD）、音源定位、腹話術効果、錯聴、マガーク効果、感覚の相補性、鼻、嗅覚、舌、味覚、umami（うまみ）、味覚嫌悪学習（条件づけられた味覚忌避）</p> <p>6 認知心理学（感覚・知覚）を学ぶ(5)：触覚、ホムンクルス（身体地図）、アリストテレスの錯覚、ベクション（視覚誘導性自己運動感覚）、アフオーダンス、応用心理学、認識（認知）と文化、ツァイガルニク効果</p> <p>7 認知心理学（感覚・知覚）を学ぶ(6)：記憶の種類、感覚記憶、残像、残効、直観像、多重（二重）記憶モデル、系列（内）位置効果、H・M氏、ワーキングメモリー（短期記憶）、リハーサル、チャンク、記憶方略、長期記憶、プライミング記憶、フラッシュバルブ記憶、スキーマ理論、記憶術、忘却、虚偽記憶</p> <p>8 発達心理学（障害心理学）を学ぶ：生涯発達、発達段階、発達課題、遺伝・環境、輻輳説、相互作用説、行動遺伝学、エソロジー（比較行動学）、アタッチメント（愛着）、発生的認識論（認知発達理論）、道徳性の発達、アイデンティティ（自我同一性）、中年期の危機、結晶性知能・流動性知能、高齢者心理、認知症、神経発達症（発達障害）、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症</p> <p>9 教育（思考・言語・知能）心理学を学ぶ：思考、概念、推論、問題解決、ウェイソン選択課題、演繹、帰納、アブダクション推論、ヒューリスティックス、認知バイアス、言語発達、言語相対性仮説、言語獲得、失語症、言語検査、知能理論、知能検査（ビネー法・ウェクスラー法・カウフマン法）、IQ（知能指数）、知的能力障害（知的発達症）</p> <p>10 社会心理学（社会・集団）を学ぶ：社会的促進、社会的抑制、社会的手抜き、向社会的行動、社会的比較過程理論、自己開示、対人魅力、帰属理論、リーダーシップ、集団浅慮、態度、バランス理論、同調、服従、偏見・差別、流言、パニックの心理、説得、心理的リアクタンス、認知的不協和</p> <p>11 感情（情動・動機づけ）心理学を学ぶ：感情生起メカニズム、原因帰属理論、顔面フィードバック説、コンフリクト（葛藤）、フラストレーション（欲求不満）、動機づけ（モチベーション）、内発的動機づけ、欲求階層説、原因帰属理論、自己効力感、学習性無力感、アンダーマイニング効果</p> <p>12 パーソナリティ心理学を学ぶ：気質、類型（タイプ）論、似非科学的（迷信的）類型、特性論、バーナム効果、ビッグ・ファイブ、力動論、防衛メカニズム、状況論、相互作用論、心理検査法、人格検査、質問紙法、投影法、ロールシャッハ検査、TAT（主題統覚検査）、P-Fスタディ（絵画欲求不満検査）、Y-G性格検査、Baumtest（樹木画検査）、作業検査法</p> <p>13 臨床心理学（心理臨床・心理的支援）を学ぶ(1)：不適応（適応障害）、ストレス理論、汎適応症候群、タイプA、トラウマ、心的外傷後ストレス症（PTSD）、サバイバーズ・ギルト、依存症、レジリエンス、首尾一貫感覚、心理アセスメント、ケース・フォーミュレーション（事例定式化）、ソーシャルワーク、社会構成主義</p> <p>14 臨床心理学（心理臨床・心理的支援）を学ぶ(2)：カウンセリング（支持的精神療法）、サイコセラピー（心理療法/精神療法）、系統的脱鋭敏化（脱感作）法、精神分析療法、交流分析（エゴグラム）、応用行動分析、認知行動療法、ソーシャル・スキル・トレーニング（SST）、家族療法、解決志向アプローチ（SFA）、心理劇、遊戯療法、公認心理師</p> <p>15 心理学の歴史を学ぶ：哲学的心理学、要素主義・構成主義、機能主義、精神分析、行動主義、ゲシュタルト心理学、認知心理学、生態学的心理学、進化心理学、自制心の熟達化、行動（諸）科学、まとめ</p>						
授業の予習・復習学修時間の割り当て	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="416 1615 491 1760">予習</td> <td data-bbox="491 1615 608 1760">90分</td> <td data-bbox="608 1615 1495 1760">上記授業計画に記載されている心理学的トピックスについて、事前に子安増生著『基本がわかる 心理学の教科書』（実務教育出版）を読み、子安増生・丹野義彦・箱田裕司監修『有斐閣 現代心理学辞典』（有斐閣）、大学図書館、インターネットなどで専門用語の意味を理解しておく。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1760 491 1872">復習</td> <td data-bbox="491 1760 608 1872">90分</td> <td data-bbox="608 1760 1495 1872">授業で配布された PowerPoint の紙媒体資料とそれに書き加えられたメモ書きをもとに、事後は『心理学』『心理学辞典』などの文献、大学図書館、インターネットなどのツールとリソースを用いて復習していただく。</td> </tr> </table> <p>認知心理学を学ぶ（感覚・知覚）では、https://www.ritsumei.ac.jp/~akitaoka/ の「北岡明佳の錯視のページ」が参考となり、予習・復習において活用していただきたい。</p>	予習	90分	上記授業計画に記載されている心理学的トピックスについて、事前に子安増生著『基本がわかる 心理学の教科書』（実務教育出版）を読み、子安増生・丹野義彦・箱田裕司監修『有斐閣 現代心理学辞典』（有斐閣）、大学図書館、インターネットなどで専門用語の意味を理解しておく。	復習	90分	授業で配布された PowerPoint の紙媒体資料とそれに書き加えられたメモ書きをもとに、事後は『心理学』『心理学辞典』などの文献、大学図書館、インターネットなどのツールとリソースを用いて復習していただく。
予習	90分	上記授業計画に記載されている心理学的トピックスについて、事前に子安増生著『基本がわかる 心理学の教科書』（実務教育出版）を読み、子安増生・丹野義彦・箱田裕司監修『有斐閣 現代心理学辞典』（有斐閣）、大学図書館、インターネットなどで専門用語の意味を理解しておく。					
復習	90分	授業で配布された PowerPoint の紙媒体資料とそれに書き加えられたメモ書きをもとに、事後は『心理学』『心理学辞典』などの文献、大学図書館、インターネットなどのツールとリソースを用いて復習していただく。					
成績評価方法	<p>(1) 期末レポート：70%</p> <p>(2) 授業毎のリアクション・ペーパー：30%</p>						

<p>教科書 (購入必須)</p>	<p>子安増生 著 『基本がわかる 心理学の教科書』 実務教育出版 2024 年</p>
<p>参考書 (購入任意)</p>	<p>子安増生・丹野義彦・箱田裕司 監修 『有斐閣 現代心理学辞典』 有斐閣 2021 年 『社会福祉学習双書』編集委員会 著 『心理学と心理的支援』 全国社会福祉協議会 2024 年 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 編 『心理学：第 5 版補訂版』 東京大学出版会 2020 年 山村豊・高橋一公 共著 『心理学 [カレッジ版]』 医学書院 2017 年 ナイジェル・C・ベンソン著 (清水・大前 訳) 『マンガ 心理学入門：現代心理学の全体像が見える』 講談社 (ブルーバックス) 2001 年</p>

科 目 名	生命倫理				
科 目 名 (英 語)	Bioethics		シラバスNo.	250000250	
担 当 教 員 名	古牧 徳生				
学 年 配 当	1 年	単 位 数	2 単位		開 講 形 態 講 義
開 講 時 期	後期	必修選択	看護：必修 栄養・社会福祉・社会 保育：選択	資 格 要 件	教職(高公)：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>				
学 修 到 達 目 標	<p>20 世紀半ば、医療技術の進歩により植物状態や臓器移植、さらには経口避妊薬が現れたことは医療の現場のみならず社会全体にも大きな影響を与えた。従来の医療倫理が現実によって乗り越えられてゆく有様をみて、医療関係者たちは個々の事例に即応した状況主義的解決を模索するようになった。それが生命倫理という 20 世紀の決議論 Casuistry である。本授業での君の到達目標は次の二つである。</p> <p>(1)生命倫理において議論されている主要な問題点を理解する。 (2)それらの問題の背後にはいかなる思想があるのか洞察する。 現代の医療技術が現実に向けかけている問題を、その根底にある世界観や人間観の次元から考えられるようになってほしい。</p>				
受 講 の 留 意 点	<p>前の週にパワーポイントの資料を配布する。医学の進歩が皆さん一人一人にとって切実な問題であること、人類全体としても大変な曲がり角にあること、さらには従来の倫理観がもはや曲がり角にきていることを理解してほしい。配布された資料は授業のあとに必ず再読するように。不明な箇所や自分なりの見解があるならメールを送るように。</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>生命倫理が登場した 60 年代の時代背景から、なぜインフォームド・コンセントなのか、なぜパーソン論を展開しなければならなかったのか、を知ろう。そこから第Ⅰ部として安楽死・尊厳死、脳死と臓器移植、脳死体利用を、第Ⅱ部として中絶、人工授精、体外受精、出生操作を、第Ⅲ部として遺伝子治療、万能細胞、クローン人間、など遺伝子医療の近未来を見ていこう。全体を通せば「権利主体をどう確定するか」(パーソン論)が第Ⅰ部と第Ⅱ部の問題であり、「パーソンの幸福」を考えていけば第Ⅱ部は必然的に第Ⅲ部になってしまうということだ。それはつまり人間観の問題であり、究極的には世界観にまで行きつく。つまり社会の宗教離れにより、それまでの規範が力を失ったため、行為の是非は個人の欲望で判断するしかないのである。つまり快樂主義だ。では個人の欲望がすべてとなると将来はどうなるか。最後にそれを考えてみたい。</p>				
	アクティブ・ラーニングの内容				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医学の黎明期の医療倫理 2 インフォームド・コンセントとパーソン論 3 安楽死 4 安楽死から尊厳死へ 5 脳死と臓器移植 6 避妊と中絶 				

	7	人工授精	
	8	体外受精と代理出産	
	9	生殖補助医療と女性	
	10	出生操作	
	11	優生思想	
	12	遺伝子医療	
	13	iPS細胞とクローン人間	
	14	人工生命	
	15	ゲノム平等社会	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	事前に配布される資料を必ず読んでおくこと。現実の医療を思い浮かべながら読むように。
	復習	90分	配布された資料を再読すること。
成績評価方法	学期末の試験(100点満点)。		
教科書 (購入必須)	なし		
参考書 (購入任意)	『基礎から学ぶ生命倫理学』 村上喜良 (勁草書房) 『生命倫理の教科書』 黒崎剛/野村俊明 (ミネルヴァ書房) 『バイオエシックスの基礎』 加藤尚武/飯田巨之 (東海大学出版会) 『快樂の生命倫理』 古牧徳生 (春秋社 近刊)		

科 目 名	文化人類学		
科 目 名 (英 語)	Cultural anthropology	シラバスNo.	250000260
担 当 教 員 名	渡部 裕		
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	後期	必修選択	選択
		資 格 要 件	教職 (高公) : 選択
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	本講義の主要な目標は、文化人類学の根幹である民族学を学ぶことによって、人類の文化や社会のあり方の多様性を理解するとともに、他者の文化・社会に対する自己の認識・価値観を見つめ直すための視点を養うことです。また、寒冷な北方地域に暮らしてきたアイヌを含む北方諸民族の文化を知ることで、さまざまな工夫や英知が込められた北方の文化の特徴を学びます。		
受 講 の 留 意 点	本講義では各受講者が積極的に文化人類学 (民族学) を学ぶ姿勢が重要であり、授業のなかで適宜、質問や小レポートによって受講者の理解度や意見・感想を確認します。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	文化人類学 (民族学) の歴史や学説の概要、『遠野物語』をはじめ具体的な資料・研究事例からさまざまな文化や社会のあり方、歴史的な変化や文化の相互作用、また北方諸民族の文化的特徴などを学びます。さらに、他者の文化を理解する方法を考えます。		
	アクティブ・ラーニングの内容		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化人類学とは -文化人類学の発展と研究分野・基本概念- 2 人類の進化と移動・拡散 -われわれはどこから来たか- 3 日本の人類学・文化人類学の先駆者 -柳田国男、宮本常一、鳥居龍蔵の調査研究- 4 参与観察に基づく民族調査 -プロスニワフ・マリノフスキー、原ひろ子の調査から- 5 アメリカの文化人類学 -フランツ・ボアズの功績と後継者たち- 6 寒冷環境における人類の適応 -北方地域への進出と適応の特徴- 7 アイヌの歴史と文化 -アイヌ文化の特徴とその歴史- 8 記録されたアイヌ文化 -江戸期の文書と絵画にみるアイヌ文化- 9 毛皮交易と北方諸民族の経済活動 -毛布交易がもたらしたもの- 10 文化接触① -北洋漁業の日本漁民とカムチャツカ先住民との事例- 11 文化接触② -イヌイト (エスキモー) における3つの事例- 12 近代国家における先住民経済と社会 -植民地化と国民国家化の影響を中心に- 13 現代の先住民社会 -ロシア・カムチャツカにおける現状と課題- 14 バナナ、ナマコ、エビをめぐる文化人類学 -生産する側と消費する側への視点- 15 文化人類学の重要性-文化の多様性と文化相対主義- 		
授 業 の 予 習 ・ 復 習	予習	90分	各講義の配布資料を事前に読み込み、概要を把握する。
学 修 時 間 の 割 り 当 て	復習	90分	講義で示された内容を再確認し、理解を深める。

成績評価方法	講義修了後のレポート（50点）と、随時行う小レポート（50点）によって評価します。また、授業態度も加味します。
教科書 （購入必須）	適宜、プリントを配布します。
参考書 （購入任意）	参考図書については、配布資料で示し、また講義において触れます。

科 目 名	芸術文化論		
科 目 名 (英 語)		シラバスNo.	250000270
担 当 教 員 名	マーティン・メドウズ・堀川 真・後藤 礼圭		
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	通年	必修選択	選択
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容		開 講 形 態	講義
		資 格 要 件	
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 5 知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<p>「教養」とは、知識の量ではなく、幅広く学び、複眼的視点から思考する姿勢である。音楽を軸にして社会のあり方などを読み解く重要性と面白さを学ぶ。(メドウズ)</p> <p>「表現」について主体的に考える。表面上のメッセージをこえて、そこにある社会的な背景、時代感覚、動機のあるようについて探求する態度を身につける。(堀川)</p> <p>各時代の政治・社会・文化的背景と密接に結びついている美術・デザインの歴史を学ぶことで、教養を深め、領域横断的に物事を読み解く力を養う。(後藤)</p>		
受 講 の 留 意 点	<p>文学研究や文化研究の考え方は保健医療福祉の分野での応用も可能なので、授業内容をしっかり聞いて理解し、専門課程の学習に生かしてもらいたい。体系的に学ぶ授業ではないので、授業のテーマが変更になることがある。</p>		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>音楽を題材に取り上げる。毎回リアクションペーパーを提出してもらうことで学生と教員が対話できるような授業を行う。(メドウズ)</p> <p>アートや絵本、映像作品などを紹介し、その時代における展開の背景を確認したり、考察したりする。リアクションペーパーを通じた対話を持って、教員や同世代とその理解を共有する。(堀川)</p> <p>芸術・文化・デザインの歴史を中心に扱い、過去の事象をみつめ直すことで、現在の身の回りのデザインや時事にも意識をむけ未来を考えていく。また、各授業リアクションペーパーを通して、学生の理解や思考を共有し双方向性のある講義とする。(後藤)</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 提出されたリアクションペーパーを元に、教員と受講生、受講生同士が意見、感想、疑問などを授業内で交換する。授業のテーマの時代背景を理解し、芸術文化が内包する主張や問題のありかを深く考えてほしい。</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：美術史とデザイン史～近代デザインの源流 (後藤) 2 芸術鑑賞 (メドウズ、堀川、後藤) 3 芸術鑑賞 (メドウズ、堀川、後藤) 4 20世紀初頭の英国とデザイン (後藤) 5 アガサ・クリスティと芸術文化 (仮題) [北星信金寄附講座聴講] 6 アニメと特撮は何を描いたか アニメーション小史と社会的背景 (堀川) 7 絵本という表現 ロングセラー絵本の魅力 (堀川) 8 美術と福祉 アール・ブリュットを着地点に (堀川) 9 ジャポニスム：流行と消費の歴史 (後藤) 10 万国博覧会とデザイン (後藤) 11 マスキュリニティとファッション (後藤) 		

	12 エコロジーと消費文化（後藤）
	13 ポップミュージックの歴史を概観：ラグタイムから K-POP まで（メドウズ）
	14 音楽における人種差別：ロックはいかにして黒人から白人、そして BTS になったのか？（メドウズ）
	15 反抗としての音楽：プロテスト・ソングと世代間対立（メドウズ）
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 90分 図書館資料や ICT を活用し、予告されたテーマについての情報を収集・整理する。
	復習 90分 講義内容を振り返りノートにまとめる。
成績評価方法	リアクションペーパー（60点：各教員 20点×3人） 課題①鑑賞レポート（20点） 課題②期末レポート（20点） 課題は「取り上げた作品が説明できているか」「多角的な視点はあるか」「論旨に説得力はあるか」が評価のポイントである。 3人の成績を合算して後藤が最終評価を行う。
教科書 （購入必須）	教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。
参考書 （購入任意）	

科 目 名	日本国憲法		
科 目 名 (英 語)	Constitutional Law	シラバスNo.	250000280
担 当 教 員 名	栞山茂樹		
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	後期	必修選択	選択
		資 格 要 件	教職：必修
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p>2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>4 世界や地域社会の諸問題を学び、複眼的な視点で保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、地域住民及び関係機関の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。</p> <p>5 知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち継続的に自己を研鑽する力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p>3 個々の地域を重視しつつ、人類がかかえる諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係わる生き方ができる力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	日本国憲法の重要項目について知る。法学の専門的水準の憲法解釈学を身につける。現実の憲法問題について自分なりに議論できるようになる。		
受 講 の 留 意 点	憲法人権分野については私の担当講義「人権と法」でも扱う(そのため、一部内容が重複することを断りしておく)。併せて履修することが望ましい。そのほか、「法学(国際法を含む)」「子どもの権利」「教育法概論」も関連がある。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>憲法とは「国家権力のしくみを定め、コントロールする法」のことである。憲法は社会科の授業で教わるほか、政界・マスコミ等でも話題にのぼるため、一般人にもある程度は知られている。しかしそれが仇となつてか、誤解や俗説も多々見受けられる。本講義ではそこにも注意しながら、法学としての憲法論を学ぶ。</p> <p>半期 15 回で憲法学の全分野(総論・人権・統治機構)の要点を解説していく。それらの全てに共通するテーマは、いかにして国家権力を制限し、個人の権利・自由を守るかという問題である。</p>		
授 業 の 計 画	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義ガイダンス、憲法に対する誤解を解く 2 憲法総論：国家・憲法・法律 3 人権と憲法上の権利 4 憲法上の権利の享有主体性：特に外国人 5 幸福追求権：自己決定権、プライバシー権 6 法の下での平等 7 信教の自由と政教分離 8 表現の自由 9 職業選択・営業の自由 10 生存権 		

	11 国民主権原理		
	12 国会と国会議員：代表民主制のしくみ		
	13 内閣：議院内閣制の構造と特色		
	14 裁判所：司法権の概念、違憲審査制		
	15 憲法九条		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	指定参考書を読む
	復習	90分	講義で出てきた専門用語とその定義を覚える。条文・判例を読むのに慣れる。指定参考書のほか、政府機関や裁判所の Web サイトに目を通す。
成績評価方法	期末試験(100%)		
教科書 (購入必須)	なし。毎回パワーポイントとハンドアウトで講義をおこなう。各自ノートをしっかりとること。		
参考書 (購入任意)	独習用に以下をすすめる。そのほか、参考文献を随時紹介する。 ・デイリー法学選書編修委員会編「ピンポイント憲法」(三省堂、2018) ・中村睦男編著「はじめての憲法学 第4版」(三省堂、2021)		

科 目 名	経済学		
科 目 名 (英 語)	Economics	シラバスNo.	250000290
担 当 教 員 名	今野 聖士		
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
開 講 形 態	講義		
資 格 要 件			
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p>4 世界や地域社会の諸問題を学び、複眼的な視点で保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、地域住民及び関係機関の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p>2 人間一人ひとりの生活や健康問題、公共政策的な課題について社会的視点を持って科学的に捉え、具体的な支援をするために保健、医療、教育などの関連分野と連携・協働できる力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	①経済学という学問の世界観・ものごとの捉え方を理解できる、②資本主義経済の段階的発展および各段階における特徴を理解できる、③社会人として最低限身につけておくべき経済学の知識（金融リテラシーを含む）を習得する、以上の3つの能力を育成する。		
受 講 の 留 意 点			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>経済学は、「資本主義」という仕組みによって成立している人間社会の仕組みを理解しようとする学問である。モノの〈生産・流通・分配〉のしくみや、貨幣（お金）・金融システム、市場原理主義と格差社会等のテーマについて解説する。また、日本経済を事例として、資本主義経済の歴史を取り上げる。経済学の初心者でも理解できるよう、できるだけ例をあげて説明する。</p> <p>スライドを使用した1回完結型の講義をおこなう。資料を毎回配布する。</p> <p>講義方法は反転学習を意識して、学生からの質問とリアクションペーパーの共有（教員からのコメント）と新しい内容の学習（講義本編）をおよそ1:2の割合で実施する。具体的には講義冒頭に前回の質問事項への回答とリアクションペーパーの共有（教員からのコメント）を行う。続いて講義本編をスライドを用いて実施する。</p> <p><留意事項></p> <p>講義の最後10分程度を使い、当日の講義に関して自身が考えたことを記述するリアクションペーパーの提出を求める（必須・評価対象）。次の講義の冒頭でいくつかの回答を紹介し、コメントする。</p> <p>新聞・テレビ・インターネットなどで経済問題を日常的にチェックする習慣を身につけること。特に図書館に配架されている「東洋経済」「日経ビジネス」等の経済雑誌は興味がある号で構わないので目を通しておくとより理解が深まる。</p> <p>対面開講を基本とするが、一部オンデマンドによる開講や外部講師による講話を実施する事がある。</p>		
	アクティブ・ラーニングの内容		
授 業 の 計 画	1 ガイダンス—経済学とは何か— ・ガイダンス 講義展開の概要 経済・経済学とは？		

- 2 分業の利益
 - ・社会的分業や市場（モノの交換・売買の場）はなぜ存在するのか解説します社会的分業
市場（しじょう） など
- 3 需要と供給・価格メカニズム
 - ・需要と供給、価格メカニズムについて解説します需要と供給で価格が決まる仕組み
価格メカニズムが意味すること など
- 4 市場の効率性
 - ・市場（しじょう）という仕組みが優れている理由について解説します市場とは
市場の機能
市場の失敗 など
- 5 市場の限界
 - ・市場の限界について解説します情報の非対称性
モラルハザード
逆選択
所得分配の不公平
貧困問題 など
- 6 労働市場の機能と限界
 - ・労働市場の機能と限界について解説します労働市場とは
労働市場と格差
労働市場を補完する政策 など
- 7 お金の経済学
 - ・貨幣（お金）と中央銀行の仕組みについて解説します貨幣とは
貨幣の機能
中央銀行 など
- 8 政府の役割
 - ・政府が果たしている役割について経済学の立場から解説します政府の経済的役割
資源配分の調整
景気安定化
予算 など
- 9 外国為替市場の仕組み
 - ・外国為替市場の仕組みについて解説します外国為替市場とは
外国為替市場の仕組み
為替の変動と市場介入 など
- 10 株式市場の仕組み
 - ・日本の株式市場の仕組みについて解説します株式とは何か
株式市場
株式所有関係の変化 など
- 11 流通の機能と役割
 - ・流通の機能と役割について解説します流通とは何か
流通の機能とは何か
流通の担い手である商業者の役割
今日の具体的な流通の展開動向 など
- 12 商業者の役割と発展の経緯①
 - ・商業者の役割と発展の経緯について解説します商業者の役割
- 13 商業者の役割と発展の経緯②
 - 商業内部での分業…卸売業と小売業

	<p>発展する商業 小売“業態”の発展…多様な小売業態 など</p> <p>14 金融リテラシー① ・学生生活と今後の人生にとって重要となる金融リテラシーについて学びます 投資 決済方法 ※一部外部講師に来て頂く予定</p> <p>15 金融リテラシー② 信用 ローンの基礎 確定拠出年金制度 保険 など</p>		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	新聞・テレビ・インターネットなどで経済問題を日常的にチェックすること。開講前に、公開された前回の受講者のリアクションペーパーの内容を読み、自身の回答と考え方・捉え方が異なる点・同じ点がないか確認し、理解を深めておくこと。不明な点は質問フォーラムに投稿すること。
	復習	90分	配布プリントを元に講義内容を振り返り、理解を深めておくこと。不明な点は、講義終了後に公開する動画を見返し、確認すること。不明な点は質問フォーラムに投稿すること。
成績評価方法	毎回のリアクションペーパーで 30 点、期末課題 70 点の合計 100 点で評価する。		
教科書 (購入必須)			
参考書 (購入任意)			

科 目 名	現代経済学			
科 目 名 (英 語)	Contemporary Economics Modern Economic Theory		シラバスNo.	250000300
担 当 教 員 名	今野 聖士			
学 年 配 当	1 年	単 位 数	2 単 位	開 講 形 態 講 義
開 講 時 期	前期	必修選択	選択	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p>4 世界や地域社会の諸問題を学び、複眼的な視点で保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、地域住民及び関係機関の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。</p> <p>6 異文化を理解するとともに、多様な価値観を認識し、国際的視野を持って活動することができる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p>2 人間一人ひとりの生活や健康問題、公共政策的な課題について社会的視点を持って科学的に捉え、具体的な支援をするために保健、医療、教育などの関連分野と連携・協働できる力を身につけている。</p> <p>3 個々の地域を重視しつつ、人類がかかえる諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係わる生き方ができる力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>			
学 修 到 達 目 標	<p>①現代日本の経済システムと経済問題を理解して説明できる</p> <p>②社会で生じているさまざまな問題を、経済学の視点から論じることができる</p> <p>③グローバル化しつつある世界経済のしくみを理解して説明できる</p> <p>以上の3つの能力を育成する。</p>			
受 講 の 留 意 点	<p>経済学を履修していることが望ましい。経済学を履修していなくとも受講は可能だが、履修を前提とした説明があるため、事前に経済学の内容を自習することが望ましい。自習内容・方法は教員へ相談のこと。</p>			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>現代経済では、グローバル化する世界経済の下で、戦後 70 余年を迎えた日本経済が、「今どうなっているのか」また、「どのようにここまで歩んできたのか」、そして「どのような理論でそれを説明することが出来るのか」と言った視点を持ちながら、現代日本の経済と関連する国際経済について解説していく。</p> <p>経済学の初心者でも理解できるよう、できるだけ例をあげて説明する。</p> <p>スライドを使用した1回完結型の講義をおこなう。資料を毎回配布する。</p> <p>講義方法は反転学習を意識して、学生からの質問とリアクションペーパーの共有（教員からのコメント）と新しい内容の学習（講義本編）をおよそ1:2の割合で実施する。具体的には講義冒頭に前回の質問事項への回答とリアクションペーパーの共有（教員からのコメント）を行う。続いて講義本編をスライドを用いて実施する。</p> <p><留意事項></p> <p>講義の最後 10 分程度を使い、当日の講義に関して自身が考えたことを記述するリアクションペーパーの提出を求める（必須・評価対象）。次の講義の冒頭でいくつかの回答を紹介し、コメントする。</p> <p>新聞・テレビ・インターネットなどで経済問題を日常的にチェックする習慣を身につけること。</p> <p>特に図書館に配架されている「東洋経済」「日経ビジネス」等の経済雑誌は興味がある号で構わない</p>			

	<p>ので目を通しておくとより理解が深まる。 対面開講を基本とするが、一部オンデマンドによる開講や外部講師による講話を実施する事がある。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <p>7 講目 「財政の今」を学ぶ際、北海道財務局旭川財務事務所とコラボ講義を開講する。外部講師による財政の現状に対する説明の他、タブレットを用いた財政シミュレーションを行う。その際、6 名程度の小グループに分かれてグループワークを実施する（先方の都合により開講回を調整する可能性がある）。</p>
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス日本経済のいま―戦後 70 年の日本経済― ・ガイダンス 講義の年間計画 受講方法 参考図書を紹介 2 日本経済のいま―戦後 70 年の日本経済― ・デフレ経済と「失われた 30 年」 アベノミクスの登場 3 日本経済の今② 戦後日本の経済成長 日本の景気循環 4 経済の成長と循環 景気変動 均衡成長を選択すべきか グローバル化と経済成長 5 望ましい物価とは 適正な資産価格を求めて 年金ポートフォリオの変化 物価上昇水準 6 財政とは（高齢化と財政負担・財政改革・年金改革） 分かち合いの経済 高齢化で重くなった政府の役割 財政赤字の現状 7 財政のいま（財政の仕組み・財政の理論） 財政改革の構図 年金改革の行方 税制改革 8 日本の貿易はどう変わったのか 変わる世界経済のダイナミズム アジアの成長・挫折・回復 自由貿易と経済摩擦の相克 GATT から WTO へ 急増する地域貿易協定 9 変わる産業構造と雇用① 第 3 時産業が主役の時代 産業構造の変化 10 変わる産業構造と雇用② 構造変化する労働市場と雇用形態 11 地球環境とエネルギー問題① 有限な地球と環境問題 環境危機 膨張の時代の終わり 地球温暖化と京都議定書 12 地球環境とエネルギー問題② 京都議定書以降（2013 年以降）の温暖化対策 生物多様性を守る 循環型社会へ動き出す

	<p>13 地球環境とエネルギー問題③ エネルギー問題－経済と環境のジレンマ 電源と電力自由化 車を取り巻く環境規制－急速に進展する BEV 化</p> <p>14 日本の選択－未来世代に豊かな成熟社会を① 課題先進国へ挑む 人口減少時代の日本 経済成長率と人口増減率の関係</p> <p>15 日本の選択－未来世代に豊かな成熟社会を② 新しい産業の育成 分散型エネルギーシステムへ転換 ローカーボン・グロウス</p>		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	新聞・テレビ・インターネットなどで経済問題を日常的にチェックすること。開講前に、公開された前回の受講者のリアクションペーパーの内容を読み、自身の回答と考え方・捉え方が異なる点・同じ点がないか確認し、理解を深めておくこと。不明な点は質問フォーラムに投稿すること。
	復習	90分	配布プリントを元に講義内容を振り返り、理解を深めておくこと。不明な点は、講義終了後に公開する動画を見返し、確認すること。不明な点は質問フォーラムに投稿すること。
成績評価方法	毎回のリアクションペーパーで 30 点、期末課題 70 点の合計 100 点で評価する。		
教科書 (購入必須)			
参考書 (購入任意)			

科 目 名	社会学		
科 目 名 (英 語)	Sociology	シラバスNo.	250000310
担 当 教 員 名	佐藤 麻衣		
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容	開 講 形 態 講 義 資 格 要 件		
対 応 す る ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会の特性を理解し説明することができるようになる。 2. 生活の多様性について理解し説明することができるようになる。 3. 人と社会の関係について理解し説明することができるようになる。 4. 社会問題とその背景について理解し説明することができるようになる。 5. 社会問題の解決に向けて自ら考えていくことができるようになる。 		
受 講 の 留 意 点	履修条件なし		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>主には配布したレジュメをもとに進め、テキストの重要な箇所も併せて示す。まず、現代社会の成り立ちと構造、その変動について学ぶ。次いで、市民社会とそこで展開される多様なライフスタイルを踏まえて、現代社会が生み出した様々な社会問題とそれらがもつ意味を学ぶ。最後に、社会学と保健・医療・福祉・保育の専門職の連携について確認し、社会問題の解決を志す将来の実践者としての見識を養う。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 リアクションペーパーの提出を求める。リアクションペーパーを集約し、匿名性を守りながら受講者の意見、感想、疑問などを授業内で紹介し、教員が回答・コメントすることによって、自分の立場、価値観、問題関心を自覚し、主体的に思考を深めるきっかけとしてほしい。</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会学の視点：社会学の意義と対象、社会学の歴史 2 社会構造と変動（1）：社会システム 3 社会構造と変動（2）：組織と集団 4 社会構造と変動（3）：人口とグローバリゼーション 5 社会構造と変動（4）：社会変動 6 社会構造と変動（5）：地域と環境 7 市民社会と公共性（1）：社会的格差と社会政策・社会問題 8 市民社会と公共性（2）：差別と偏見 9 市民社会と公共性（3）：災害と復興 10 生活と人生（1）：家族とジェンダー 11 生活と人生（2）：健康と労働 12 生活と人生（3）：世代 		

	13 自己と他者 (1) : 自己と他者		
	14 自己と他者 (2) : 社会化		
	15 自己と他者 (3) : 相互作用		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	テキストの該当箇所・関連箇所を読む。
	復習	90分	授業内で示した参考文献・論文等の中から興味関心のあるものを選んで読み、授業への理解度を深める。
成績評価方法	期末試験 (100点)。 (1) 社会学における基礎知識に関する理解度、(2) 現代社会の実態や社会が抱える諸問題に関するデータを正しく読み解き、その原因について説明できる力、(3) 授業で学んだことをもとに、時事問題について考察できる力、の3点から評価を行う。		
教科書 (購入必須)	中央法規出版『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 3 社会学と社会システム』2021年		
参考書 (購入任意)			

科 目 名	ジェンダー論		
科 目 名 (英 語)	Sociology of Gender	シラバスNo.	250000320
担 当 教 員 名	佐藤 麻衣		
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
		開 講 形 態	講義
		資 格 要 件	教職 (高公) : 選択
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジェンダーをめぐる基本的な用語について説明できるようになる。 2. ジェンダーに関わる諸問題を生み出す社会的な構造を理解し、職場、教育、地域など多くの場面に潜むジェンダー問題について社会的な観点から考察・説明ができるようになる。 3. さまざまな人びとが生きる「性」について理解し尊重することができるようになる。 		
受 講 の 留 意 点	履修条件なし		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>授業は講義形式で行い、配布したレジュメをもとに進める。テキストの指定は行わない。各授業内で参考文献を複数紹介する。</p> <p>この科目は社会学の一領域という位置づけであり、様々な社会事象をジェンダーの視点から考察する。まず、人びとを取り巻く社会的現実を知り、次いで、ジェンダーに関わる諸問題を生み出す社会的な構造について理解を深めるとともに、ジェンダー平等をめぐる様々な議論について学ぶ。また、社会が多様な人びとによって構成されていることについての見識を深めるために、性の多様性という視点から社会を考察する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 リアクションペーパーの提出を求める。リアクションペーパーを集約し、匿名性を守りながら受講者の意見、感想、疑問などを授業内で紹介し、教員が回答・コメントすることによって、自分の立場、価値観、問題関心を自覚し、主体的に思考を深めるきっかけとしてほしい。</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ジェンダーとは何か：ジェンダーの定義、ジェンダーについて学ぶ意義 2 フェミニズムとジェンダー研究：フェミニズムの誕生とその後の学問的発展 3 子どもの遊びとジェンダー：おもちゃ・ゲームとジェンダー 4 アニメとジェンダー（1）：お伽話・漫画・アニメのキャラクターとジェンダー 5 アニメとジェンダー（2）：物語における固定化されたジェンダー役割 6 学校文化とジェンダー（1）：隠れたカリキュラム 7 学校文化とジェンダー（2）：女の子集団の特徴 8 学校文化とジェンダー（3）：男の子集団の特徴 9 美容・ファッションとジェンダー：化粧・ファッション・ダイエットとジェンダー 10 ジェンダーとセクシュアリティ（1）：裸を視る／視られるということの意味 11 ジェンダーとセクシュアリティ（2）：恋愛とジェンダー 12 就労とジェンダー（1）：日本のジェンダー・ギャップ、賃金格差、女性の就労の難しさ 		

	13 就労とジェンダー（２）：日本型雇用と男性の生きづらさ
	14 ジェンダーとは何か・再考（１）：ジェンダーの認知とコミュニケーション
	15 ジェンダーとは何か・再考（２）：さまざまな人びとの生き方と「性」の尊重
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 90分 各授業内で次回授業の理解を深めるための課題を呈示するので、それにしたがって、統計データや新聞記事などを調べてくる。
	復習 90分 授業内で示した参考文献・論文等の中から興味関心のあるものを選んで読み、授業への理解度を深める。
成績評価方法	レポート（100点）。 （１）問題設定の適切さ、（２）ジェンダーをめぐる基本的な用語についての理解度、（３）記述の論理性と結論の説得性、の3点から評価を行う。
教科書 （購入必須）	なし
参考書 （購入任意）	授業内で適宜紹介する。

科 目 名	化学			
科 目 名 (英 語)	Chemistry	シラバスNo.	250000330	
担 当 教 員 名	小野寺 智子・丸山 洋介			
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位	開 講 形 態 講義
開 講 時 期	前期	必修選択	選択	資 格 要 件 食品衛生：科目 A
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p>2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>			
学 修 到 達 目 標	化学は食品学や栄養学、生化学などの専門科目を学ぶための基礎科目として重要であるが、日常生活のさまざまな現象を理解する上でも必要となる。本科目では、大学における専門科目の内容を理解するために必要な化学の知識を身につけ自在に使えるようになること、日常生活におけるさまざまな現象を化学の知識をもとに理解し説明できるようになることを目標とする。			
受 講 の 留 意 点	栄養学科の学生で、食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格の取得を検討している学生は、本科目および食品有機化学から1科目以上を履修すること。 授業で取り上げた内容の復習を通して、化学の基礎を身につけること。			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>教科書の内容をベースに、高等学校の化学基礎および化学で学習する内容のうち、大学における専門科目を学ぶ上で必要と考えられる分野を中心に解説する。また本科目は教養教育科目であることから、発展的な内容を取り上げ解説することもある。化学（本科目）の必要性は学科ごとに異なること、高等学校における化学基礎および化学の履修状況がさまざまな学生が受講していることにも配慮して授業を行うように努める。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 授業の最後に、その回で取り上げた内容に関連する演習問題または小テストに取り組み、理解度の確認をする。</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 化学を学ぶにあたって（小野寺） 2 純物質と混合物、物質の分離精製方法、化学の基礎法則（小野寺） 3 原子の構造、電子配置、周期表（小野寺） 4 化学結合（小野寺） 5 固体の構造と性質、物質の量、物質の問題演習（小野寺） 6 溶液の濃度、濃度計算の問題演習（小野寺） 7 物質の状態変化、溶解のしくみ、沸点上昇、蒸気圧降下（小野寺） 8 コロイド、浸透圧、気体の状態方程式（小野寺） 9 食品とエネルギー（丸山） 10 食品内で起こる変化（丸山） 11 有機化合物とその働き 1-有機分子の構造と結合（丸山） 12 有機化合物とその働き 2-糖質、脂質（丸山） 			

	13 有機化合物とその働き 3-核酸、酵素 (丸山)
	14 無機化合物とその働き 1 (丸山)
	15 無機化合物とその働き 2 (丸山)
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 60分 指定の教科書の該当する章や、手元にある場合は高校の化学基礎および化学の教科書の該当箇所を読み込む。
	復習 120分 講義資料の内容を整理し、演習問題の書き直しを行い学習内容の定着に努める。
成績評価方法	レポート (50%) および小テスト (50%) で評価する。 1-8 講目の内容については、8 講目の授業日より約 3 週間後を提出期限予定としてレポートを課し、ルーブリックを用いて評価する。9-15 講目の内容については、毎回の授業で小テストを実施する。これらの総合評点をもとに 5 段階で成績を評価する。
教科書 (購入必須)	松井徳光・小野廣紀 著『わかる化学 知っておきたい食と暮らしの基礎知識』化学同人
参考書 (購入任意)	

科 目 名	生物学		
科 目 名 (英 語)	Biology	シラバスNo.	250000340
担 当 教 員 名	山本 達朗		
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p>2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<p>学生がヒトを対象とする職業を目指すにあたっては、私たちの体の仕組みを含め生物学全般に対する理解を深めることは重要である。本講義において学生は、私たちのからだを構成する細胞、細胞内で起きている代謝や遺伝子発現、そしてそれら細胞が集まり構成される組織や器官が関わる個体調節や生体防御などの機構について学ぶ。本講義は、学生が生命の不思議さや生命活動の複雑さを理解することを目標とする。</p>		
受 講 の 留 意 点	資料を配布するので、配布資料の整理につとめること。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>最初に、学生は生物の最小単位である細胞について理解するために細胞について詳細に学び、続いて細胞で構成されているヒトに関する事項を学ぶために、組織学、器官、ホルモン、神経系、免疫について学ぶ。また、ヒトの疾患等に関わる領域として、微生物、ガンを取り上げ、さらにそれらを含めた治療に対する理解を深めるためにバイオテクノロジーについて学ぶ。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 振り返り・個別の質疑応答</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 生物学とは 2 細胞の構造と機能 3 細胞を構成する物質について 4 物質代謝とエネルギー代謝 5 DNAの構造と遺伝 6 遺伝子発現 7 細胞増殖と細胞死 8 発生過程と細胞分化 9 人体の組織 10 人体の器官 11 ホメオスタシス（恒常性） 		

	12 神経系の構造と機能		
	13 生体防御		
	14 微生物と感染症		
	15 ガンと老化		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	医療・看護系のための生物学の関係する章を読み込む
	復習	90分	講義資料に書き込んだ内容について読み返す
成績評価方法	定期試験（100点）で評価する。		
教科書 （購入必須）	医療・看護系のための生物学（田村隆明著、裳華房）		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	生命科学				
科 目 名 (英 語)	Life Science	シラバスNo.	250000350		
担 当 教 員 名	鈴木 裕				
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位	開 講 形 態	講義
開 講 時 期	前期	必修選択	栄・社福・社保：選択 看 護：必修	資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容					
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p>2 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>				
学 修 到 達 目 標	<p>授業目標：現代社会に生きる私達は様々な観点から生命科学と関わりを持つようになっているが、本科目では、ヒトの遺伝のしくみ（人類遺伝学）や遺伝性疾患を学習し、それらの概要を説明できることを目標とする。</p> <p>受講者の到達目標：遺伝や遺伝病に関わる問題を正しく理解した上で、それらの知識を看護、栄養、社会福祉などの分野に応用する能力を養う。</p>				
受 講 の 留 意 点	<p>プリントを配布し、スライドを中心に説明する。講義内容あるいは関連した内容に関する質問は、講義時の出席カードやメール等で受け付ける。</p> <p>質問対応アドレス：hisuzuki@asahikawa-med.ac.jp</p>				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>遺伝現象や遺伝学に関わる歴史的な出来事を発見の順で学び、人類遺伝学の概要を理解する。次に、ヒトの遺伝現象や遺伝病を例にして、個々の遺伝様式を詳しく学ぶ。さらに、遺伝病をもつ患者や家族への理解を深めつつ、生命倫理的な問題の具体例を学ぶ。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容：各講義のポイントとなる重要事項について、自ら整理・調査して理解を深め自らの言葉で記述する。</p>				
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 遺伝学の歴史：遺伝学発展の契機となる出来事に触れながら、人類遺伝学の概要を学ぶ。 2 遺伝学の基礎①：遺伝現象の理解に必要な細胞分裂や減数分裂の仕組みを学ぶ。 3 遺伝学の基礎②：DNA、遺伝子、染色体の関係を理解する。また、性の決定について学ぶ。 4 遺伝学の基礎③：メンデル遺伝や身近なヒトの遺伝現象を理解する。 5 人類遺伝学の基礎①：ヒトの遺伝性疾患の分類や家系図について学ぶ。 6 人類遺伝学の基礎②：常染色体優性遺伝や常染色体劣性遺伝について学ぶ。 7 人類遺伝学の基礎③：X連鎖優性遺伝やX連鎖劣性遺伝について学ぶ。 8 人類遺伝学の基礎④：ミトコンドリア遺伝や多因子遺伝について理解を深める。 9 人類遺伝学の基礎⑤：体細胞遺伝としてのがんについて学ぶ。 10 人類遺伝学の基礎⑥：エピジェネチクス(エピゲノム)について学ぶ。 11 人類遺伝学の基礎⑦：染色体異常症について学ぶ（1）。 12 人類遺伝学の基礎⑧：染色体異常症について学ぶ（2）。 				

	13	分子生物学：分子生物学の基礎とその医療応用について学ぶ。	
	14	生命倫理と遺伝①：出生前診断の方法について学ぶ。	
	15	生命倫理と遺伝②：生命倫理の問題と遺伝カウンセリングについて学ぶ。	
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	事前配布されたプリントを読んで、内容を理解すると共に、疑問点を明確にする。
	復習	90分	プリントと講義内容を復習し、レポート課題を仕上げる。
成績評価方法	テスト（60点）、レポート（20点）、毎回のコメントシート（20点）として、それらの合計で成績を評価する。		
教科書 （購入必須）	教科書は使用しない。		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	生態学		
科 目 名 (英 語)	Ecology	シラバスNo.	250000360
担 当 教 員 名	佐藤 冬樹		
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
開 講 形 態	講義		
資 格 要 件			
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対 応 す る ディプロマ・ポリシー	<p>栄養学科 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p>看護学科 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、人間を全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p>社会福祉学科 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p>社会保育学科 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<p>名寄市のある北海道北部は、寒冷で多雪であるという国内では他に類を見ない自然条件を持っている。このような厳しい環境のもとで多様な生物群集が成立しているが、それらは日本よりもむしろシベリアや北米などの大陸に近い要素を持っている。</p> <p>この講義では、私たちの生活の基盤となる北海道北部を例にとり、自然環境の成り立ち、生物群集の構成、生活様式などを学ぶとともに、それらを統合した生態系の構造と機能についての理解を深めることをねらいとする。</p>		
受 講 の 留 意 点	<p>この授業は学外（北海道大学研究林における）野外学習が大半となる。フィールドや研究林庁舎での講義とともに、テーマを設けたグループ学習も行う。この授業の大部分は研究林に宿泊しながらの集中講義形式となるので、それにかかる費用（7,000円程度）は履修者から徴収する。また、宿泊施設の収容人数の関係上、履修者数には制限（30人程度）がある。履修希望者が定員を超過した場合は抽選により履修者を決定する。</p>		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>自然生態系に対する人間活動の影響についても学習し、北海道大学研究林の森林を利用し、研究林の教職員と連携しながら生態系の構造の保全や機能の維持のための方策についての討論もおこなう。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 授業には北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーションで作成している、インターネット教科書「森（もり）を調べる」(https://www.hokudaiforest.jp/教育関係共同利用拠点/フィールド科学実習教科書-森をしらべる/)も使用する</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション：地球規模でみた道北の生態系 2 景観の成り立ち 3 自然環境の特徴 4 植物の特徴 5 森林の特徴 6 鳥獣の特徴 7 大型動物 8 水生生物 9 水・エネルギーの流れ 10 物質の流れ 11 生態系の利用 		

	12 人間活動の影響—地球規模(1)		
	13 人間活動の影響—地球規模(2)		
	14 生態系機能の評価 (総合討論)		
	15 生態系機能の維持・保全 (総合討論)		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	下記参考書をもとに予習する。
	復習	90分	各授業に関するレポート作成。
	予習・復習とも1回の講義に割り当てる学習時間。		
成績評価方法	レポート(80点)、授業態度(20点)を加味して評価する。		
教科書 (購入必須)	テキストは使用しない。		
参考書 (購入任意)	上記インターネット教科書を使用する。		

科 目 名	地球環境科学			
科 目 名 (英 語)	Environmental Earth Science	シラバスNo.	250000370	
担 当 教 員 名	安東 義乃			
学 年 配 当	1年	単 位 数	2単位	開 講 形 態 講義
開 講 時 期	前期	必修選択	選択	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p>栄養学科 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p>看護学科 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、人間を全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p>社会福祉学科 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p>社会保育学科 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>			
学 修 到 達 目 標	環境科学という学問分野の全体像、地球規模および身の回りで起きている環境問題についての基本的な理解と知識を習得することを目標とする。			
受 講 の 留 意 点	ハサミと油性ペンを持参すること。実習があるため動きやすい服装が好ましい。地域的なものから地球規模の環境問題まで、幅広い分野の事例を取り扱う。なるべく分かりやすく説明するが、興味がある部分については、各自、予習（インターネットでの検索など）を行うこと。			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>近代科学の発展は、人間の生活に利便性と経済的な豊かさをもたらした。一方で、生物多様性や生態系サービスなどの自然の恵みをタダ同然で消費してきた結果、有害物質や温室効果ガスの排出、大規模開発などによって、生態系のバランスが崩れ、生物多様性の損失や生態系サービスの劣化が生じている。それらは人類の生存環境を著しく悪化させる事態であり、地球規模・地域規模の環境問題として、人類は喫緊の解決をせまられている。本講義では、生態系のしくみについての基礎的理解をもとに、地球規模・地域規模の環境問題について、自然科学・人文・社会科学的視点から概説を行う。最後に、自然と調和する持続可能な循環型社会にむけて、世界の潮流や実践的な取り組みについて紹介する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 体験学習、調査学習、グループワーク、グループディスカッション</p>			
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境科学序論：環境問題とは 2 環境と科学の歴史：近年の人間活動と環境変化 3 生態系のしくみ（1）：物質の流れ（炭素循環ゲーム） 4 生態系のしくみ（2）：生物間相互作用ネットワーク 5 生態系のしくみ（3）：遺伝的多様性と適応進化 6 地球規模の環境問題（1）：外来種問題 7 地球規模の環境問題（2）：都市環境と自然① 8 地球規模の環境問題（3）：都市環境と自然② 9 地球規模の環境問題（4）：地球温暖化や砂漠化 10 地球規模の環境問題（5）：環境化学物質による影響 11 保全生態学（1）：なぜ、自然を守らなければならないのか？ 12 保全生態学（2）：生物多様性をどうやって守るか？ 13 環境を保全するために（1）：地理空間情報と生態系ビッグデータの活用 			

	14 環境を保全するために（2）：世界の潮流（SDGs,ネイチャーポジティブ,30by30,TNFD など）
	15 環境を保全するために（3）：人と自然が調和した社会にむけて
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習 90分
	復習 90分
	講義（50%）と実習(50%)を併用する。復習はレポート作成とする。
成績評価方法	講義の最終時限に小テストを行う。授業参加態度とテストの点数で成績評価を行う。 授業参加態度 40点、小テスト 60点
教科書 （購入必須）	テキストは特に使用しない。講義時に資料を配布する。
参考書 （購入任意）	特に無し。

科 目 名	地域社会論		
科 目 名 (英 語)	Local Community Studies	シラバスNo.	250000380
担 当 教 員 名	大坂 祐二		
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	前期	必修選択	選択
開 講 時 期		資 格 要 件	教職 (高公・高福) : 選択
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>4 世界や地域社会の諸問題を学び、複眼的な視点で保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、地域住民及び関係機関の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>2 人間一人ひとりの生活や健康問題、公共政策的な課題について社会的視点を持って科学的に捉え、具体的な支援をするために保健、医療、教育などの関連分野と連携・協働できる力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	<p>次の2点を到達目標とする。</p> <p>1. 地域社会をめぐる様々な問題について理解を深める。</p> <p>2. 現代社会における地域問題について分析する視角を身につける。</p>		
受 講 の 留 意 点	対面授業で行うが、感染状況等によっては遠隔授業に変更する場合がある。毎回の授業のふりかえりを課題とするので、期限までに提出すること。		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>専門職者として地域社会のなかで仕事をする際には、その地域のありようを理解し、そこに生きる人々との関係性を育て、必要に応じて適切な対応ができる力が必要である。本講義では、地域が抱える様々な問題を取り上げながら、地域社会とはなにか、地域における生活課題としてどのような問題があるのかを考える。</p>		
授 業 の 計 画	<p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少社会とは 2 都市と農村 3 高齢化と地域社会 4 少子化と地域社会 5 地域社会とコミュニティ 6 まちづくりとその担い手 7 地域住民とは誰か 8 地方自治と住民自治 9 子ども・若者の居場所と地元志向 10 移住とネットワーク 11 祭り・イベントと地域社会 12 子育てを支える社会 13 誰が医療・介護を支えるのか 14 グローバル化と地域社会 一介護人材問題を中心に 15 「持続可能な福祉社会」とは 		

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	配布資料に目を通し、わからない言葉などは調べておく。
	復習	90分	講義内容をふりかえり、考えたことをノートなどにまとめる。
成績評価方法	課題提出（30点）および期末レポート（70点）で評価を行う。		
教科書 （購入必須）	指定のテキストはない。適宜、レジюмеや資料を配布する。		
参考書 （購入任意）	広井良典『人口減少社会のデザイン』東洋経済新報社、2019年 森岡清志（編）『地域の社会学』有斐閣アルマ、2008年		

科 目 名	北海道の地域資源		
科 目 名 (英 語)	Local Resources in Hokkaido	シラバスNo.	250000390
担 当 教 員 名	石川 貴彦・古牧 徳生・清水 幸子・荻野 大助・小西 二郎		
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	通年	必修選択	選択
		開 講 形 態	講義
開 講 時 期		資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科> 幅広い教養と栄養に関する専門的知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を身につけている。</p> <p><看護学科> 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科> 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p><社会保育学科> 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>		
学 修 到 達 目 標	地域社会を支える様々な資源（自然環境・施設・文化・人など）への理解を通して、現在やこれからの地域課題や振興策への関心を高め、地域に学ぶ人材として、積極的に地域振興や課題解決に関わろうとする意識を形成することができる。		
受 講 の 留 意 点			
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>道北にある地域資源を活用し、学生自らが地域に対する理解を深め、現在、そしてこれからの北海道の地域形成のあり方について考えることを目的として、名寄近郊の施設等に訪問し、施設見学や職員講話、体験活動を通して、地域文化の享受や保全、地域振興などの方策を学ぶ。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容 各資源において体験学習を取り入れ、ガイダンスとまとめてグループ・ディスカッションを行う。</p>		
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 北海道の地域資源の魅力と現状、資源化までのプロセス（石川） 2 なよろ市立天文台きたすばるでの講義（1）（石川）※夜間集中開講 3 なよろ市立天文台きたすばるでの講義（2）（石川）※夜間集中開講 4 名寄市内の教会巡り（1）（古牧） 5 名寄市内の教会巡り（2）（古牧） 6 鉄道遺産からみた北海道の地域資源活用（荻野） 7 キマロキ・北国博物館での講義（1）（荻野）※土日集中開講 8 キマロキ・北国博物館での講義（2）（荻野）※土日集中開講 9 公園という地域資源／地域資源としての公園（清水） 10 学校という地域資源／地域資源としての学校（小西） 11 陸上自衛隊名寄駐屯地での講義（1）（清水） 12 陸上自衛隊名寄駐屯地での講義（2）（清水） 13 住友ゴムテストコースでの講義（1）（清水）※後期土日集中開講 14 住友ゴムテストコースでの講義（2）（清水）※後期土日集中開講 15 講義のまとめ、地域資源の活用策について考える（石川）※後期開講 		

授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	訪問する地域資源に関する情報を事前に調べておくこと。
	復習	90分	地域資源の訪問で学んだ知識を整理し、地域振興のアイデアを考えておくこと。
成績評価方法	各担当教員が提示する小課題等（50%）、レポート課題（50%）		
教科書 （購入必須）	教科書は使用しない		
参考書 （購入任意）			

科 目 名	北海道の野外レクリエーション		
科 目 名 (英 語)	Hokkaido Outdoor Recreation	シラバスNo.	250000400
担 当 教 員 名	Martin Meadows		
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位
開 講 時 期	通年	必修選択	選択
		開 講 形 態	実技
開 講 時 期		資 格 要 件	
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容			
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々をおりまく環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。 ・幅広い教養と栄養に関する専門知識および技術に基づいて、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組むための力を身につけている。 <p><看護学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的関心を持ち、主体的に学習する能力と自ら研究する態度を持ち、継続的に自己研鑽する力を身につけている。 <p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にしながら実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。 ・個々の地域を重視しつつ、人類が抱える諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係る生き方ができる力を身につけている。 <p><社会保育学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。 		
学 修 到 達 目 標	<p>北海道の自然の豊かさを理解する。</p> <p>それと付き合うことで見えてくる自分自身を発見する。</p> <p>日常生活にある「拘束」から自由になることの意味を理解する。</p>		
受 講 の 留 意 点	<p>科目の特性上、履修定員を22名までとする。超えた場合は、抽選。</p> <p>キャンプする場合、食料費などの出費が求められる(2000円程度)。</p> <p>個人に関する装備品は、可能な限り自分で準備する。</p> <p>7月に事前説明会を開催するので、履修希望者は必ず出席すること。</p>		
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>名寄市周辺の河川、湖沼などでカナディアンカヌーを実践し、道北の山を自分の足で登ります。夜はキャンプ場でテントを使用して宿泊します。季節に合う野外活動を実践する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p>		
授 業 の 計 画	<p>季節に合わせ、活動は3回実施する。</p> <p>8月：天塩川でカヌー体験・キャンプ</p> <p>10月：道北の山(中頓別町のピンネシリ山)でハイキング体験</p> <p>2月：朱鞠内湖でアイスフィッシング体験(有料)</p>		
授 業 の 予 習 ・ 復 習 学 修 時 間 の 割 り 当 て	予習	分	
	復習	分	
	活動前後の調査・リフレクションシートの提出を求める。		
成 績 評 価 方 法	受講態度(50点)およびレポート(50点)を採点の対象とする。		
教 科 書 (購 入 必 須)	なし		
参 考 書 (購 入 任 意)			

科 目 名	北海道の農と食			
科 目 名 (英 語)	Relationship between Agriculture and Food in Hokkaido	シラバスNo.	250000410	
担 当 教 員 名	今野 聖士			
学 年 配 当	2年	単 位 数	2単位	開 講 形 態 講義
開 講 時 期	通年	必修選択	選択	資 格 要 件
実 務 経 験 及 び そ れ に 関 わ る 授 業 内 容				
対応する ディプロマ・ポリシー	<p><栄養学科></p> <p>1 人文・社会・自然および地域を幅広く理解し、人々を取り巻く環境や健康・食生活に関する課題について多角的にとらえる力を身につけている。</p> <p><看護学科></p> <p>1 職業人としての幅広い教養や基本的なリテラシーを身につけ、人間の基本的権利を尊重し、全人的に広く理解し行動できる力を身につけている。</p> <p>4 世界や地域社会の諸問題を学び、複眼的な視点で保健・医療・福祉ニーズを明確に捉え、地域住民及び関係機関の人々と連携・協働し、保健・医療・福祉の統合、向上に取り組める力を身につけている。</p> <p><社会福祉学科></p> <p>1 幅広い教養や基本的なリテラシーを基盤として、人間の尊厳と権利を深く理解し、人間一人ひとりを大切にして実践的に対人援助ができるために必要な力を身につけている。</p> <p>3 個々の地域を重視しつつ、人類がかかえる諸問題と異文化にも深い関心を持ち、その発展と問題解決に係わる生き方ができる力を身につけている。</p> <p><社会保育学科></p> <p>1 人間の尊厳と権利を尊重し、豊かな人間性と幅広く深い知識・教養を基盤として、社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けたリーダーシップを発揮する力を身につけている。</p>			
学 修 到 達 目 標	<p>①北海道農業の現状、とりわけ北海道農業を担う各主体の役割を理解する。</p> <p>②農と食が様々な人々の不断的努力によって支えられていることを理解し、北海道の農と食の今後のあるべき姿を論じることができる。</p> <p>以上の2つの能力を育成する。</p>			
受 講 の 留 意 点				
授 業 の 概 要 と アクティブ・ラーニングの 内 容	<p>北海道は日本の「食料基地」と呼ばれ、私たちの食生活で大きな役割を担っている。現在の北海道農業の特徴とその問題点を、とりわけ北海道農業を担う各主体の役割（農家や農協、地方自治体など）から理解できるよう講義展開を行う。また、普段何気なく食べている「食」がそれを支える様々な人々の不断的努力で支えられている事を理解出来るよう、座学だけでなく、実習や講演を通じて体験的に学習する。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回完結型の講義を行い、北海道農業の特徴を理解する。 ・ 名寄市内の農家で実際に農業・農村体験実習を実施し、地域農業・産業としての農業の特徴と農家・農村における働き方や考え方、地方における生活について理解を深める。 ・ 農や食を支える各主体の担い手に講話をして頂き、その役割や苦労について理解を深める。 ・ 生産者と交流を持つことで、生消の相互理解を推進し、今後の消費者のあり方を考える。 <p><留意事項></p> <p>農業・農村体験実習の時間を確保するため開講スケジュールが一定では無いことから開講予定について特に注意すること（2コマ連続での開講や隔週での開講等）。</p> <p>通常講義・講話では、最後 10 分程度を使ってその講義に関して自ら考えた事を書き、提出を求める（必須・評価対象）。</p> <p>講話の開講日は講演者のスケジュール調整の都合上、通常開講とは異なる時間帯・曜日に開催することがある。開講予定をよく確認すること。</p> <p>農業・農村体験実習は名寄市内農家にて3回・各3時間程度（各回2コマ分相当）行う。通常講義とは異なる時間展開・準備が必要となる事がある。詳細は初回の講義時等に指示する。</p>			

	<p>実習は名寄市グリーンツーリズム推進協議会および事務局（名寄市経済部農務課）の協力を得て実施する。30 数戸の農家に分かれて赴くこと、農家の作付状況・生育状況、また当日の天候や設備の制限等による制約が大きく、全ての受講者に対して均一なメニューを提供することは出来ない（行き先農家や天候その他の状況によって体験内容は大きく変動する）。とりわけこの講義では「農作業体験」を目的としておらず、「農業・農村体験実習を通じて農業と農村（生活）を理解し、食と農のつながり、それを支える各主体の役割や考え方を理解すること」を主目的としている。このため、天候等の影響により農作業が実施できない場合もあるが、農作業そのものよりも農家との交流による（相互）理解が一番重要であることを認識した上で実習に臨むこと。</p> <p>上記了承の上で受講すること。</p> <p><参考 農業・農村体験実習について></p> <p>計 3 回・9:00～12:10 の時間を確保して実習を行う予定（大学集合・解散）。実習当日はジャージなど動きやすく汚れてもよい服装が必要。基本的には雨天決行のため、雨具の持参が必要である。また、帽子・長靴は各自で用意する。（一定数レンタルあり）</p> <p>以上のように実習や講話、交流といった座学講義ではないアクティブラーニングが中心のため、講義日程が通常開講日と大きく異なることが予想される。また、履修人数・実習予算の確保の状況によって実習にかかる実費が合計 500～1000 円程度必要となる可能性がある（過去に 300 円を徴収した年あり、直近 6 年は徴収無し）。了承の上で受講のこと。講義予算の確保状況や農家側の受け入れ状況によって履修制限を行う場合がある（上限 120 名程度の見込み。近年履修制限を実施したことはないが昨年は 118 名であった）。</p> <p><その他></p> <p>通常講義は基本的に対面で講義を行う。状況によりオンデマンド等の方法を組み合わせて実施する事もある。</p> <p>基本的に前期に実習を含めて 12 回の開講を行い、後期は講話を中心に 3 回の開講を予定している（天候・生育具合等によるため年によって変動する）。決定次第講義内で紹介する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの内容</p> <p>1 回に 2 コマ相当を 3 回、計 6 コマ相当、農業・農村体験実習として、市内各農家に実際に出向き、農作業やお話を伺って理解を深める。その過程において農家の仕事（農業の実際）、農業と地域のつながり、産業としての農業を理解し、農業と食のつながりを理解する。</p>
授 業 の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> ・講義のガイダンス 講義内容（通常講義・講話）の紹介と、農作業体験実習、生消交流の紹介を中心に行う 2 農業をとりまく状況（通常講義） <ul style="list-style-type: none"> ・農業をとりまく状況全般について解説します そもそも農業とは何だろうか？ 農業の規模感とは？（日本・北海道・海外） 農産物はどうやって農家から消費者まで届くのか？ など 3 北海道農業・農村の現状と課題（通常講義） <ul style="list-style-type: none"> ・北海道農業・農村および名寄の農業・農村の現状と課題を解説します 北海道の農業・農村の現状について（北海道庁の資料） 名寄市の農業の現状について 4 農業・農村体験実習 1 回目①（②と連続で開講） <ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験を通じて農家の仕事（農業の実際）、農業と地域のつながり、産業としての農業を理解する 5 農業・農村体験実習 1 回目②（①と連続で開講） <ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験を通じて農家の仕事（農業の実際）、農業と地域のつながり、産業としての農業を理解する 6 農業・農村体験実習 2 回目①（②と連続で開講） <ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験を通じて農家の仕事（農業の実際）、農業と地域のつながり、産業としての農業を理解する 7 農業・農村体験実習 2 回目②（①と連続で開講） <ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験を通じて農家の仕事（農業の実際）、農業と地域のつながり、産業としての農業を理解する 8 農と食の担い手による講話① <ul style="list-style-type: none"> ・農と食の担い手による講演を聞き、その役割や苦労、消費者として今後どのように行動していけば良いのかを考える

	<p>食料生産は農業者だけでなく、多くの関係者の不断の努力によって支えられている事を意識する。 農業・食品関連産業関係者の方を予定</p> <p>9 農業・農村体験実習 3 回目①（②と連続で開講） ・農作業体験を通じて農家の仕事（農業の実際）、農業と地域のつながり、産業としての農業を理解する</p> <p>10 農業・農村体験実習 3 回目②（①と連続で開講） ・農作業体験を通じて農家の仕事（農業の実際）、農業と地域のつながり、産業としての農業を理解する</p> <p>11 農と食の担い手による講話② ・農と食の担い手による講演を聞き、その役割や苦勞、消費者として今後どのように行動していけば良いのかを考える 食料生産は農業者だけでなく、多くの関係者の不断の努力によって支えられている事を意識する。 農業・食品関連産業関係者の方を予定</p> <p>12 北海道農業の特性について（通常講義） ・北海道農業と観光業の関係性について、グリーンツーリズムについて学ぶ</p> <p>13 農と食の担い手による講話③（後期） ・農と食の担い手による講演を聞き、その役割や苦勞、消費者として今後どのように行動していけば良いのかを考える。 これまでの自らの農業・農村・食に関するイメージと、実務者が実際に取り組んでいる状況の違いを意識する。 農家さんの講話①を予定 ・生消交流企画の実施（昨年度実績：名寄産農産物の配布）</p> <p>14 農と食の担い手による講話④（後期） ・農と食の担い手による講演を聞き、その役割や苦勞、消費者として今後どのように行動していけば良いのかを考える 家族間の役割分担やジェンダー、多様な生き方と仕事との関係性について意識する。 農家さんの講話②を予定（女性農業者グループによるトークセッションを予定）</p> <p>15 実習のふりかえり（通常講義） ・実習レポートの内容を元に振り返りと気づきの共有を行います ・配布した農産物を調理した結果の共有</p>		
授業の予習・復習 学修時間の割り当て	予習	90分	「農業農村を取り巻く状況」・「現在の食と農のつながり・名寄、北海道」、「日本の農業を担う農家とそれを支える仕組み、主体」この3点が本講義のキーワードとなる。講義、あるいは実習、講話において、次回の開講がこのいずれに関わるのか、またどの部分を学ぶことが出来るのか考え、整理しておくこと。
	復習	90分	毎回リアクションペーパー、あるいは実習レポート等の提出を求めるが、その概要・あるいは全てについてフィードバックを行っている。他者の考え・捉え方を参考に、自身の回答が振り返り、予習で整理した要点との違い（同じ点）・他者の回答との違い（同じ点）について精査すること。
成績評価方法	農作業体験実習ごとの実習レポートで計60点、講話ごとのレポートで30点、通常講義のリアクションペーパー10点、の計100点で配点し評価する。		
教科書 (購入必須)			
参考書 (購入任意)			